

平成 29 年度

事業報告書  
及び附属明細書

# 平成 29 年度 事業報告書 概要版

## 目 次

### 平成 29 年度事業報告書概要版

1	新潟県社会福祉協議会活動指針の推進	3
2	基本方針別の事業実施概要	
(1)	法人運営機能の強化	4
(2)	みんなで育む福祉のまちづくり	4
(3)	一人ひとりの自立生活づくり	5
(4)	利用者主体の福祉サービスづくり	5
(5)	福祉を支える人づくり	5

# 新潟県社会福祉協議会 平成29年度事業報告書概要版

## 1 新潟県社会福祉協議会活動指針の推進

県社協の基本理念や基本方針実現のため、活動指針に定める次の4事業を重点的かつ計画的に実施するとともに、平成30～32年度を計画期間とする新活動指針を策定した。

### ➤ 地域における権利擁護事業の推進

#### ① 日常生活自立支援事業

市町村社協実施方式への移行を進め、平成29年度からは8基幹的社協の他に、新たに6市町村社協が実施した。また、来年度以降の事業実施意向調査を行うとともに、4地区での市町村社協移行推進会議開催や個別訪問等を行い、平成30年度は6市町村社協が移行することになった。

#### ② 成年後見制度普及促進事業

高齢化を背景に対象者の急増が想定される成年後見制度の普及促進のための各種事業を実施するとともに、県、関係団体と利用促進計画策定に向けた意見交換に参加した。

○成年後見制度担当者研修会の開催 6月15日 新潟市 参加者128名

○市町村長申立推進研修会の開催

・基礎編 新潟市 6月15日 参加者107名

・応用編 三条市 9月19日 参加者45名

○法人後見推進研修会の開催 2月20日

新潟市 参加者70名

○法人後見専門員スキルアップ研修会の開催

2月27～28日 新潟市 参加者延べ139名

○成年後見制度推進連絡会議の開催

10月から12月にかけて6会場で開催

(魚沼市、上越市、新発田市、新潟市、三条市、長岡市) 参加者151名



《法人後見推進研修会》

### ➤ 生活困窮者の自立支援と地域づくりの推進

① 生活困窮者支援に関わる情報交換会の開催 3月9日 新潟市 参加者16名

② 生活困窮者支援等をテーマとしたフォーラムの開催 12月21日 新潟市 参加者54名

### ➤ 災害福祉広域支援ネットワークの推進

① 災害時における要配慮者支援に関する県との協定締結

9月12日 新潟市

② チーム活動マニュアル策定、支援チーム員研修・訓練実施

11月17日 新潟市 参加者51名

③ 災害福祉広域支援セミナー

3月1日 新潟市 参加者152名



《災害時における要配慮者支援に関する協定締結》

## ➤ 福祉職員研修受講支援事業の推進

### ① 研修情報提供事業

本会ホームページに、7福祉団体（1団体増加）が主催する研修会を一体的に掲載し情報提供

### ② 研修履歴管理システム活用事業

本会ホームページ上に研修受講管理システムを構築し福祉職員のキャリアアップ支援

### ③ 福祉職員のための出前研修事業

外部研修への職員派遣が難しい小規模福祉施設・事業所（2カ所）に出前研修を実施

## 2 基本方針別の事業実施概要

### (1) 法人運営機能の強化

#### ➤ 職員の育成・組織力向上

① スキルアップ研修 新潟国際情報大学オープンカレッジ受講等 参加者16名

② 組織力向上研修 第1回：10月4日 参加者40名／第2回：1月25日 参加者38名

### ③ 実践研修

・新任職員実地踏査研修 三条市社会福祉協議会、(株)スノーピークウエル 参加者5名

・県外視察研修 社会福祉法人福祉楽団（千葉県） 参加者2名

### (2) みんなで育む福祉のまちづくり

#### ➤ 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成

① 第67回新潟県民福祉大会の開催 10月17日～18日 妙高市

② 福祉・介護・健康フェア2017の開催

新潟市 11月19日 来場者17,700名

長岡市 11月5日 来場者4,679名

上越市（事業協力） 10月28日 来場者1,372名

### ③ 福祉情報提供事業

福祉団体とマスコミとの懇談会の開催

9月20日 新潟市 参加者15名（マスコミ3社3人・福祉団体12団体12人）



《福祉・介護・健康フェア2017in長岡》

#### ➤ 地域福祉活動の振興

### ① 新たな社会課題に対応する共生の仕組みづくり構築事業

○居場所フォーラムの開催 12月13日 三条市 参加者62名

○子どもの居場所づくりフォーラムの開催 12月16日 新潟市 参加者117名

○新潟医療福祉大・新潟市社協との共催による「医療・福祉・スポーツセミナーinにいがた」の開催 9～12月に新潟市において4回開催 参加者131名

○支え合いのしくみづくりアドバイザー派遣事業 県内5社協に派遣

② 市町村社協会長視察研修 9月14～15日 柏崎市 参加者51名

➤ 関係機関・団体との連携・支援の推進

○福祉関係団体との連携・協働を基盤とした政策提言、予算要望活動の実施

11福祉団体共同による県知事及び県福祉保健部長に対する要望活動 12月21日

(3) 一人ひとりの自立生活づくり

➤ 高齢者の社会参加の促進

①ねんりんピック

- ・にいがたねんりんピックの開催 12種目 参加者1,036名
- ・全国健康福祉祭（ねんりんピック）派遣 9月9～12日 秋田県115名派遣

②新潟県高齢者大学の運営

- ・基礎応用課程講座 ① 基礎課程 1年次 4クラス 全14日間 134名修了  
② 応用課程 2年次 4クラス 全14日間 122名修了
- ・実践講座 7コース 各3～4日間 167名修了
- ・シニアカレッジ新潟に名称変更決定

➤ 生活安定への支援

①生活福祉資金貸付事業

貸付件数：148件／貸付額：35,956,372円

②ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

貸付件数：22件／貸付額：9,590,000円

③児童養護施設退所者等に対する自立支援資金事業

貸付件数：8件／貸付額：3,690,000円



《新潟県高齢者大学》  
(シニアカレッジ新潟に名称変更)

(4) 利用者主体の福祉サービスづくり

➤ 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実

①福祉サービス運営適正化委員会の開催

委員会 2回

利用援助事業調査小委員会 4回

苦情解決小委員会 6回（苦情受付実績39件）

②福祉サービスに関する苦情解決研修会の開催

6月、10月に2回開催 参加者420名

(5) 福祉を支えるひとづくり

➤ 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援

①福祉人材センター事業

- ・福祉人材無料紹介所での求人求職相談、斡旋

相談件数11,110件、採用167名（うち長岡支所12名 上越出張相談《新規》1名）

・就職フェア等の開催

福祉の就職総合フェア2017            6月10日   新潟市   参加者155名

福祉のしごとミニ面談会            5～2月に8回開催   参加者279名

・SNSを活用した広報活動

ブログやインターネット広告を開始、人材センターやイベントの周知実施

②介護福祉士等修学資金貸付事業の実施

・介護福祉士・社会福祉士修学資金

貸付件数：36件／貸付額：13,720,000円

・介護福祉士実務研修受講資金《新規》

貸付件数：59件／貸付額：10,040,000円

・離職介護人材再就職準備金《新規》

貸付件数：1件／貸付額：200,000円



《福祉の就職総合フェア》

➤ 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進

○認知症ケアステップアップセミナーの開催

新潟会場：10月18～19日   参加者28名／長岡会場：1月29～30日   参加者27名

平成29年度  
事業報告書

## 平成29年度事業報告書

第1 概要	9
第2 事業実施状況	10
<b>基本方針Ⅰ 法人運営機能の強化</b>	
推進目標1 組織推進体制・経営力強化	10
<b>基本方針Ⅱ みんなで育む福祉のまちづくり</b>	
推進目標1 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成	14
推進目標2 地域福祉活動の振興	18
推進目標3 ボランティア活動の振興	24
推進目標4 関係機関・団体との連携・支援の推進	29
<b>基本方針Ⅲ 一人ひとりの自立生活づくり</b>	
推進目標1 高齢者の社会参加の促進	33
推進目標2 高齢者への生活支援の充実	37
推進目標3 障害者の社会参加の促進	39
推進目標4 生活の安定への支援	40
<b>基本方針Ⅳ 利用者主体の福祉サービスづくり</b>	
推進目標1 福祉サービス利用者の権利擁護の推進	46
推進目標2 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実	53
<b>基本方針Ⅴ 福祉を支える人づくり</b>	
推進目標1 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援	57
推進目標2 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進	66
推進目標3 福祉従事者の養成と資質向上の推進	69

# 平成29年度事業報告書

## 第1 概 要

平成29年度は次の5本柱を基本方針に掲げ、新たなニーズへの対応や社協活動の啓発・広報強化、福祉団体との連携強化、事業評価を踏まえた新規事業の充実などに重点的に取り組んだ。さらに、活動指針に基づき重点的かつ計画的に取り組む事業の推進を図るとともに、平成30～32年度を計画期間とする新活動指針を策定した。

### 基本方針Ⅰ 法人運営機能の強化

活動指針に基づき、地域における権利擁護事業の推進や生活困窮者の自立支援と地域づくり、また、災害時の要配慮者の安全・安心を図るためのネットワークの構築や福祉職員の資質向上のための研修受講を支援する事業を推進した。また、この取組実績をふまえ、社会情勢に応じた新たな活動指針を策定し、平成30年度から取り組むこととした。

### 基本方針Ⅱ みんなで育む福祉のまちづくり

6年目となる「福祉・介護・健康フェア」は県内3会場で開催することで、県内の多くの方に来場頂くとともに、福祉団体とマスコミとの懇談会を開催するなど、広報・啓発活動を強化した。

新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会においては、災害時の要配慮者支援の体制の整備に向けた取組として、新潟県との協定の締結やチーム活動マニュアルを策定した。

### 基本方針Ⅲ 一人ひとりの自立生活づくり

高齢者の社会参加を進めて地域社会の活力を維持するため、「にいがたねんりんピック」及び「高齢者大学」を実施するとともに、「高齢者大学」においては、「シニアカレッジ新潟」と名称を改め、開学30年に向けて、学びの機会の提供と卒業生のネットワークづくりに取り組むこととした。

生活困窮者自立支援事業については、地域での支え合い活動等、重層的なセーフティネットの構築が一層必要となっているため、当該事業に取り組む市及び市社会福祉協議会へ支援を行った。また、低所得者等への資金の貸付けと必要な相談支援を行う生活福祉資金貸付事業を行った。さらに、「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業」及び「児童養護施設退所者等に対する自立支援資金事業」を実施した。

### 基本方針Ⅳ 利用者主体の福祉サービスづくり

判断能力に不安のある方が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援する「日常生活自立支援事業」の実施体制を、基幹的社協実施方式から全市町村社協実施方式へと移行すべく県内社協との協議及び働きかけを行い、平成29年度からは現8基幹的社協の他、新たに6市町村社協が実施することとなった。また、成年後見制度利用促進基本計画の策定により、今後利用者の増加が想定される成年後見制度の更なる普及促進のための事業を行った。

### 基本方針Ⅴ 福祉を支える人づくり

県内の福祉・介護人材を確保するため、上越市において新潟県福祉人材センター出張相談を開始した。また、無料職業紹介事業によるマッチング向上に努めるとともに、福祉の就職総合フェアやミニ面談会の開催、福祉の仕事に関する情報をフェイスブックやブログで発信し啓発事業などに取り組んだ。

福祉・介護施設で働く職員を対象とした研修事業においては、新規に「伝える力研修」や「会議運営スキル研修」、「記録の書き方研修」など、福祉動向や受講者のニーズに即した研修を実施した。

## 第2 事業実施状況

◎新規事業 ○見直事業・事項

### 基本方針Ⅰ 法人運営機能の強化

#### 推進目標1 法人推進体制・経営力強化

##### 1 推進体制の確立

###### (1) 理事会

期日・場所	審 議 事 項
第1回 5月24日 新潟市	<b>[審議事項]</b> 第1号議案 平成28年度事業実施報告及び決算に関する件 第2号議案 評議員候補者の推薦に関する件 第3号議案 定時評議員会の招集に関する件 <b>[報告事項]</b> ① 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について ② 社会福祉充実残額について
第2回 6月13日 新潟市	<b>[審議事項]</b> 第1号議案 会長、副会長、常務理事の選定に関する件 <b>[報告事項]</b> ① 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について ② 評議員の選任について
第3回 3月19日 新潟市	<b>[審議事項]</b> 第1号議案 平成29年度資金収支補正予算に関する件 第2号議案 平成30年度事業計画及び収支予算に関する件 第3号議案 評議員候補者の推薦に関する件 第4号議案 基本財産の処分に関する件 第5号議案 諸規程の改正に関する件 第6号議案 第2回評議員会の招集に関する件 <b>[報告事項]</b> ① 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について ② 新潟県社会福祉協議会活動指針について ③ 会計監査人の設置について

###### (2) 評議員会

期日・場所	審 議 事 項
定時 6月13日 新潟市	<b>[審議事項]</b> 第1号議案 平成28年度事業報告及び決算に関する件 第2号議案 役員を選任に関する件 第3号議案 役員報酬規程の改正に関する件 <b>[報告事項]</b> ① 評議員の選任について ② 社会福祉充実残額について
第2回 3月27日 新潟市	<b>[審議事項]</b> 第1号議案 平成29年度資金収支補正予算に関する件 第2号議案 平成30年度事業計画及び収支予算に関する件 第3号議案 役員を選任に関する件 第4号議案 基本財産の処分に関する件

	<b>[報告事項]</b> ① 評議員の選任について ② 諸規程の改正について ③ 新潟県社会福祉協議会活動指針について ④ 会計監査人の設置について
--	---

### (3) 評議員選任・解任委員会

期日・場所	審 議 事 項
5月24日 新潟市	<b>[審議事項]</b> 1 評議員の選任について
3月19日 新潟市	<b>[審議事項]</b> 1 評議員の補欠選任について

### (4) 監事会

期日・場所	監 査 事 項
5月15日 新潟市	① 平成28年度事業の実施状況について ② 平成28年度一般会計及び生活福祉資金に係わる会計の決算及び財産の状況について ③ 社会福祉充実残額について

### (5) 総合企画部会

期日・場所	協 議 ・ 報 告 事 項
12月12日 新潟市	① 部会長及び副部会長の選任について ② 活動指針の実施状況について ③ 新たな活動指針の策定について ④ 要望活動の実施について

### (6) 会計実務実地指導

期 日	指 導 内 容
4月24日25日 新潟市	・平成28年度決算事務実地指導 指導者 公認会計士・税理士 逸見 和宏
11月20日 新潟市	・平成29年度上半期会計事務実地指導 指導者 公認会計士・税理士 逸見 和宏

## 2 職員の育成・組織力向上

### (1) 職員研修

期日・場所	内 容
10月4日 新潟市 (参加者40名)	<b>[第1回組織力向上研修]</b> ① 竹内会長講話 ② 講義「職場のハラスメント防止」 桑原次長 ③ 関谷常務理事・事務局長の講義

1月25日 新潟市 (参加者38名)	<b>[第2回組織力向上研修]</b> ・講義：「組織の相乗力の向上について」 講師：グローバルマーケティング株式会社 代表取締役 今井 進太郎 ・グループワーク：「協力し合える職場・組織づくりに向けて」 講師：同上
通 年	<b>[階層別研修]</b> ・社会福祉施設職員新任研修受講（6名） ・社会福祉施設指導的職員研修受講（1名）
通 年	<b>[スキルアップ研修]</b> ・新潟国際情報大学オープンカレッジ受講（7講座10名） ・新潟県女性財団人材育成セミナー受講（2講座2名） ・県社協社会福祉研修センター研修受講（4講座4名）
11月14日	<b>[実践研修① 新任職員実地踏査研修]</b> ・社会福祉法人 三条市社会福祉協議会（5名） ・株式会社 スノーピークウェル（5名）
2月7日	<b>[実践研修② 県外視察研修]</b> ・社会福祉法人 福祉楽団（千葉県香取市）（2名）
通 年	<b>[自己啓発研修]</b> ・社会福祉主事資格認定通信課程（秋期コース）（1名）
通 年	組織活性化かわら版「すくらむ」の発行 年6回

### 3 会館の管理運営

#### (1) 新潟ユニゾンプラザの管理運営

平成18年度より新潟県の指定管理者として、快適な環境のもとで利用が円滑に行われるよう施設の保守管理に万全を期すとともに、サービスの向上に努めた。

多目的ホールは、舞台吊物機構制御盤・操作盤改修工事に伴い31日間利用を停止させた。

##### ① 利用実績

貸室名	利用日数(利用率%)	利用回数(利用率%)
多目的ホール	155 (44.7)	296 (28.4)
大研修室	298 (85.9)	631 (60.6)
大会議室	276 (79.5)	579 (55.6)
中研修室	273 (78.7)	511 (49.1)
小研修室1	292 (84.2)	575 (55.2)
小研修室2	297 (85.6)	574 (55.1)
小研修室3	286 (82.4)	589 (56.6)
小研修室4	307 (88.5)	628 (60.3)
特別会議室	227 (65.4)	421 (40.4)
和室	168 (48.4)	289 (27.8)
平均	258 (74.3)	509 (48.9)

- ▶ 利用可能日数（開館日）347日、時間帯（午前、午後、夜間）、利用可能回数 1,041回

## ② サービス向上、利用者ニーズの把握と施設運営への取組

- ▶ お客様専用ページによるインターネット予約手続き等の運用
- ▶ 案内表示板の改善、会館の環境美化
- ▶ 駐車場の管理・運営
- ▶ 「お客様の声」箱の設置（常設）
- ▶ 利用者満足度アンケートの実施（年2回）
- ▶ 利用者懇談会の開催
- ▶ 接客マナー向上の取り組み・研修への参加

## ③ 利用者懇談会

期日・場所	協 議 事 項
11月22日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス向上のための改善措置状況について</li> <li>・利用者アンケート調査の結果等について</li> <li>・サービスの充実について（意見交換）</li> </ul>

## ④ 利用者ニーズの反映・取組

- ▶ 利用実態に即応した休館日を設定した。
- ▶ 多目的トイレに折りたたみ式多目的シートを設置し、利便性の向上を図った。
- ▶ グランドピアノの分解整備を実施し、利用環境の整備を図った。
- ▶ 介護実習室の介護用ベッドを1台更新した。

## ⑤ 自主事業の取組

- ▶ 福祉用具の日（10月1日）のPR、福祉用具・啓発キャンペーンを実施（10月1日～31日）。
- ▶ 新潟まつり花火大会に合わせて、施設を一般県民に開放。
- ▶ 福祉・介護・健康フェアに福祉機器展示室としてブース出展し事業PRに努めた。

## ⑥ 修繕等の実施状況

- ▶ 舞台吊物機構制御盤・操作盤改修工事（県費負担）
- ▶ 冷温水発生機（3号機）分解整備工事（県費負担）
- ▶ 区分開閉器取替工事（県費負担）
- ▶ 図書室パッケージエアコン取替工事（県費負担）

## (2) 旧社会福社会館の管理運営

本会と新潟県共同基金会が共有する旧新潟県社会福社会館について、老朽化及び耐震性の問題から処分することとし、その諸手続きを実施した。

## 基本方針Ⅱ みんなで育む福祉のまちづくり

### 推進目標 1 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成

#### 1 新潟県民福祉大会開催事業

##### (1) 第67回新潟県民福祉大会

期日・場所等	内 容
10月17日 妙高市	<p><b>[研究集会]</b></p> <p>第1研究集会 妙高市文化ホール 「住民主体の地域づくり」 コーディネーター 地域の茶の間 創設者 河田 桂子 シンポジスト 妙高市社会福祉協議会 地域福祉係長 栗原 正美 いちょう食堂 代表 金子 光洋 NPO かも小町 認知症カフェ主宰者 小柳 登代美</p> <p>第2研究集会 新井ふれあい会館 「ともに生きる」 コーディネーター 新潟医療福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 特任教授 武井 恒美 シンポジスト 新潟日報社 編集局報道部 記者 野上 丈史 放課後等デイサービス 特定非営利活動法人てるいんとこ理事長 倉島 繁 就労継続支援 A 型事業 株式会社 With You 代表取締役社長 柏崎市障がい者活躍推進アドバイザー 小林 俊介</p>
10月18日 妙高市	<p><b>[式典]</b> 妙高市文化ホール</p> <p>新潟県知事表彰 8名 新潟県社会福祉協議会長表彰 70名、18団体 新潟県共同募金会長表彰 45名、3地区、7企業・団体、3校</p> <p><b>[記念講演]</b> 元 NHK エグゼクティブアナウンサー 村上 信夫 氏</p>

##### (2) 社会福祉関係者の表彰（新潟県社会福祉協議会長表彰）

表 彰 区 分	被表彰者数
① 民生委員児童委員表彰	8名
② 社会福祉団体役員表彰	7名
③ 社会福祉活動優良団体表彰	11団体
④ 社会福祉事業協力表彰	2団体
⑤ 永年勤続表彰	55名
⑥ 特別表彰（児童福祉法施行70周年・民生委員制度創設100周年記念）	5団体

### (3) 会長表彰選考委員会の開催

会長表彰選考委員会 9月11日 新潟ユニゾンプラザ3階 ボランティア交流室

## 2 福祉・介護・健康フェア開催事業

### (1) 福祉・介護・健康フェア2017

一般県民の福祉に関する理解促進を図るため、新潟市社会福祉協議会及び新潟日報社と連携して「福祉・介護・健康フェア2017」を開催した。また、長岡市でも長岡市社会福祉協議会及び新潟日報社と連携して「福祉・介護・健康フェア2017in長岡」を開催した。更に、上越市では新潟日報社主催で「福祉・介護・健康フェア2017in上越」を開催し、上越市社会福祉協議会とともに事業協力を行った。

#### ① 実施概要

期日・場所等	内 容
11月19日 新潟市 (来場者17,700名)	<p>[メインステージ]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・森下悠里氏 プレミアムトークショー</li><li>・スペシャルオリンピックス日本・新潟ダンスチームH&amp;D</li><li>・ひなたライブ&amp;超耕21ガッター×トチオンガーセブン</li><li>・『わがまま』のつながり方～地域包括ケアをどうつくるか～</li><li>・笑いは百薬の長 落語で生き生き体操</li><li>・間 寛平氏 プレミアムトークショー (世代間交流事業)</li></ul> <p>[セミナーステージ]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・介護者の離職防止のために～マッスルスーツをはじめとした介護ロボットの現在 (いま) ～</li><li>・なぜ老いる？ならば上手に老いるには～健康長寿の勝負の分かれ道～</li><li>・弁護士によるまるわかりセミナー ～消費者被害に遭わないために・成年後見制度の活用～</li><li>・ちょいしお調理実演It's SIO time ～健康に良い減塩レシピ教えます！～</li><li>・親子であそぼう！ゆたぴー先生と一緒に♪★わくわくワークショップ★</li></ul> <p>[情報展示コーナー]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・出展団体(企業)：119社/134ブース出展</li></ul> <p>[同時開催事業]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○新潟市社会福祉協議会 会員のつどい</li><li>○世代間交流事業<ul style="list-style-type: none"><li>・健康測定・体力測定、おもちゃ病院、木工教室</li></ul></li><li>○「介護の日」県民のつどい<ul style="list-style-type: none"><li>・フットケア体験</li><li>・認知症サポーター養成講座</li><li>・「介護の日」ポスターコンテスト</li><li>・福祉相談コーナー (4ブース設置)</li></ul></li><li>○介護技術コンテスト</li><li>○福祉の店パレット周年祭<ul style="list-style-type: none"><li>・出店施設 (事業所)：31施設</li></ul></li><li>○ノウフクマルシェ 出店施設 (事業所)：10施設</li></ul>

	<p>○アートキャンプ新潟 ○NIC健康セミナー特別編 [体験コーナー] [子ども広場] [絵本ワールド] [飯島勝矢氏講演会] [はたらく車大集合] [グルメコーナー]</p>
<p>11月5日 長岡市 (来場者4,679人)</p>	<p>[メインステージ] ・お笑いコンビ レギュラー氏 プレミアムトークショー ・誰もが幸せを感じられる長岡市になるために ・帝京長岡高等学校 吹奏楽部演奏 ・医療・介護の連携 長岡市のフェニックスネットが目指すもの ・ご当地体操体験会 [セミナーステージ] ・介護と住まい、福祉とまちづくり～介護は楽しく～ ・講談で学ぶ成年後見制度 ・認知症サポーター養成講座 in アオーレ ・菊池桃子氏 講演会 [情報展示コーナー] ・出展団体(企業)：47社/38ブース出展 [同時開催事業] ○ノウフクマルシェ 出店施設(事業所)：7施設 ○福祉の店 パレット長岡 ○チャリティーバザー ○NIC健康セミナー特別編 [いきいき生活相談会] ・就職相談コーナー 他 [オレンジカフェ in アオーレ] [長岡おもちゃ病院] [はたらく車] [グルメコーナー] [足湯コーナー]</p>
<p>10月28日 上越市 (来場者1,372人)</p>	<p>[メインステージ] ・注目！減塩生活が健康寿命を延ばす ・元気と笑顔がトレードマーク！認知症サポーターの輪を広げ隊 ・上越市社会福祉協議会 会長表彰 ・ルー大柴氏 講演会 ・いつまでも住み慣れたこの地域で暮らしていくために、いまできること [情報展示コーナー] ・出展団体(企業)：18社/35ブース出展 [セミナールーム] ・認知症サポーター養成講座 [ノウフクマルシェ] ・出店施設(事業所)：4施設 [フードドライブ] [福祉の店 パレット] [こども広場]</p>

## ② 周知・広報活動

- ▶ 新潟日報朝刊・おとなプラス・assh・N-assh（長岡）・assh上越版における広告掲載：出展者募集、開催告知、採録特集等
- ▶ 福祉新聞紙面における広告掲載：出展者募集
- ▶ 折り込みチラシによる開催告知：10月下旬～
- ▶ テレビ・ラジオCMによる開催告知：10月上旬～
- ▶ ポスター・チラシによる開催告知：10月上旬～
- ▶ デジタルサイネージの放映：10月上旬～
- ▶ イベント専用ホームページの運営：6月中旬～

## 3 福祉情報提供事業

### (1) 県社協ホームページの運営

各担当部署による適切な情報提供を実施した。バナー広告掲載箇所を増やすなど、より閲覧しやすいようデザインの変更をした。バナー広告掲載：平成30年3月末現在で11企業・団体。

### (2) 新潟ユニゾンプラザ図書閲覧室の運営

福祉関係図書等の閲覧・貸出、ビデオ・DVDの貸出、パソコンによる福祉情報の提供を行った。県内福祉関係施設や社会福祉協議会の機関誌を整理し開架するとともに、福祉団体に選書を依頼し、新たに「おすすめ本コーナー」を設置した。また、高齢者大学や研修会で対象に合わせたチラシを配布し利用促進に努めた。

事 項	利用実績
利用者数	4,092名
利用登録者数	3,798名
図書貸出数	393冊
視聴覚資料貸出数	41点
相談件数	28件

### (3) 福祉団体とマスコミとの懇談会

顕在化するさまざまな福祉課題に対処するため、福祉団体とマスコミとの情報交換や両者間でのパイプづくりの場を設け、活発な議論が交わされた。

- ▶9月20日（火）参加者＝マスコミ3社3人・福祉団体12団体12人

### (4) 広報アドバイザー派遣事業

福祉施設・団体が発行する広報誌の製作等に関し助言を行うアドバイザーを派遣した。

施設・団体名	内 容
新潟県保育士会	「会報誌作成における編集作業の要点と進め方」
湯沢町社会福祉協議会	「広報誌づくりについて」

### (5) データブック「新潟県のふくし」の作成・配布

県内の福祉関係者・団体の活動に役立てることを目的に、県内の福祉に関する基礎的データを集約した「新潟県のふくし」を作成し、第67回新潟県民福祉大会参加者等へ配布した。

- ▶ 作成部数：2,000部
- ▶ 内 容：世帯、高齢者、結婚・出生、児童、障害者、生活困窮・孤立等、社会への貢献意識等、福祉人材に関するデータ、県社協調査データ、指標でみる新潟県の姿

## (6) 子ども版・新潟県の福祉データパンフレットの作成

児童の福祉への理解や関心を促すため、県内の福祉に関する基礎データを小学校高学年向けに作成し、教育現場で福祉について考える教材の1つとして作成しホームページに掲載した。

## 4 機関誌発行事業

### (1) 「福祉にいがた」の発行

民生委員・児童委員制度創設100周年に合わせて、前年度に続き29年4月号から12月号まで、同委員活動を紹介する連載を始めた。また、巻頭特集の充実に努めたほか、福祉の現状やそれに対する県社協の事業をはじめ、福祉の実践活動など幅広く紹介した。

▶ 発行実績：年9回、各15,000部 年3回（オアシス組み込み）、各20,000部

### (2) 総合情報誌「福祉にいがた オアシス21」の発行

明るく長寿社会づくりを目的に、高齢者に関わる諸問題を中心に誌面を展開した。年間を通して24ページ建て（3月号は4ページ臨増）とし、一層充実した誌面の発行に努めた。

▶ 発行実績：年3回、各20,000部

### (3) 月刊誌「キャレル」にPR記事掲載

広く県民に高齢者大学とねんりんピックの楽しさを伝え、参加者の掘り起こしを図ることを目的に、10月号(4ページ)、12月号(4ページ)、4月号(2ページ)の合わせて10ページの記事広告を掲載した。キャレルは県内で20,000部発行。

## 5 共同募金・たすけあい運動等推進事業

### (1) 共同募金運動・歳末たすけあい運動の推進

社会福祉法第119条の規定に基づき、新潟県共同募金会に対し、募金の目標額及び配分方法等について意見具申をするとともに、募金運動の推進に積極的に協力した。

### (2) 各福祉週間事業の推進

各種週間事業（子どもの日－児童福祉週間、老人の日－老人週間、障害者の日－障害者週間）について、ポスターの配布等を通じて県民の意識啓発に努めた。

## 推進目標2 地域福祉活動の振興

### 1 地域福祉活動推進事業・市町村社協活動支援事業

#### (1) 総合事業など新たな社会課題の抽出及び検討事業

地域共生社会実現に向けた住民相互のたすけあい活動の推進や介護保険制度における「新しい総合事業」の推進など、新たな社会課題を抱える市町村社協に対して、個別訪問や支え合いのしくみづくりアドバイザー派遣事業などをおして、関係機関・団体との連携のもと、課題解決に向けた方策の検討やその取り組みが円滑かつ効果的に推進できるよう支援を行った。

## (2) 新たな社会課題に対応する共生の仕組みづくり構築事業

### ① 生活困窮者支援に関わる情報交換会の開催

期日・場所等	内 容
3月9日 新潟市 (参加者16名)	報告「生活困窮者自立支援制度の見直しと今後の展開について」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課 主任 寺口 祐司 説明「新たな住宅セーフティネット制度等について」 新潟県土木部都市局都市政策課広域都市政策班 政策企画員 平松 和浩 新潟県居住支援協議会 事務局 小嶋 和浩 話題提供「一時生活支援事業について」 新潟市パーソナル・サポート・センター 主任相談支援員 蛭原 勝 情報交換「我がまちの居住確保に向けた課題とその解決に向けた道筋を 考える」

### ② 生活困窮者支援等をテーマとしたフォーラムの開催

期日・場所等	内 容
12月21日 新潟市 (参加者54名)	講演「生活困窮者世帯等の子どもへの学習支援 ～貧困の連鎖と社会的排除から子どもたちを守るために必要なこと～」 池坊短期大学幼児保育学科 教授 宮武 正明 実践報告「県内における学習支援の取り組み」 テーマ及び実践報告者： テーマ①「新発田市における”高校生相談支援事業”の取り組み」 新発田市社会福祉課生活支援係 係長 星野 哲也 高校生相談支援員 馬場 行男 テーマ②「新潟市東区における”大学”と”行政”が連携した中学生に対する学習支援の取り組み」 新潟県立大学人間生活学部子ども学科 准教授 小澤 薫 テーマ③「三条市における NPO 法人による学習支援の取り組み」 NPO 法人地域たすけあいネットワーク 理事長 野島 理恵子 コーディネーター：池坊短期大学幼児保育学科 教授 宮武 正明

### ③ 居場所フォーラムの開催

#### ア 居場所フォーラムの開催

期日・場所等	内 容
12月13日 三条市 (参加者62名)	講演「障害のある人もない人も暮らしやすい街づくり ～障害者差別解消法 これからの地域共生型福祉～」 毎日新聞社 論説委員 野澤 和弘 シンポジウム「生きづらさを抱える人たちが、より豊かに地域生活を送るために」 テーマ及びシンポジスト： テーマ①「柏崎市社協だからできる！？住まいの確保と自立支援に向けた取り組み」 柏崎市社会福祉協議会地域福祉課 課長代理 大塚 真光子 テーマ②「障害者雇用をはじめとした住みよい街づくりに向けたパン屋の取り組み」 アフリカンベーカリーカフェ・ナミテテ 取締役・マネージャー 工藤 知子 テーマ③「誰もが参加しやすい形を目指した伝統芸能”神楽”への取り組み」 神楽めでたいや 榎田 雄一、近 守 コーディネーター：毎日新聞社 論説委員 野澤 和弘

### イ 子どもの居場所づくりフォーラムの開催

期日・場所等	内 容
12月16日 新潟市 (参加者117名)	<p>基調講演「子どもをまん中においた地域共生の未来」 講師：法政大学教授 湯浅 誠</p> <p>パネルディスカッション「子どもを中心としたこれからの地域ネットワークづくり」 パネラー：元気百倍レストランなじよも 佐野 政光 笑顔いっぱいまんまる食堂 唐橋 聡 子どもにじいろカフェ 西川 紀子 コーディネーター：新潟県立大学人間生活学部准教授 小池 由佳 コメンテーター：法政大学教授 湯浅 誠</p>

### ④ 新潟医療福祉大学・新潟市社協の共催による「医療・福祉・スポーツセミナーinにいがた」の開催

期日・場所等	内 容
9月25日 新潟市 (参加者13名)	<p>講演「輝く瞳で生き生き生活！」 新潟医療福祉大学視機能科学科 教授 前田 史篤</p>
10月30日 新潟市 (参加者49名)	<p>講演「解決！夜間頻尿・尿失禁等への対処法」 新潟医療福祉大学作業療法学科 教授 今西 里佳</p>
11月27日 新潟市 (参加者40名)	<p>講演「運動で身体と脳をコンディショニング」 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科 准教授 佐藤 大輔</p>
12月18日 新潟市 (参加者29名)	<p>講演「腰痛借金返済で腰痛改善！」 新潟医療福祉大学義肢装具自立支援学科 准教授 勝平 純司</p>

### ⑤ 住民参加型在宅福祉サービス担当者会議の開催

期日・場所等	内 容
2月27日 新潟市 (参加者22名)	<p>説明・報告「改正社会福祉法(我が事・丸ごと地域共生社会関連)の内容と住民参加型在宅福祉サービス団体実態調査の結果について」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課 主任 寺口 祐司</p> <p>話題提供「システムを活用した住民参加型在宅福祉サービスと地域支援の取組み」 魚沼市社会福祉協議会地域福祉課 課長 坂大 優</p> <p>講義・情報交換「助け合いで共感の輪を広げていく ～改めて住民参加型在宅福祉サービスの必要性を考える～」 支え合いのしくみづくりアドバイザー 河田 珪子</p>



### (3) 市町村社協会長視察研修

県内の先進的な地域福祉活動等を視察し、社協事業全般について役員相互の意見交換等を行うことで連携・交流を深め、社協活動の推進に資することを目的に開催した。

期日・場所	内 容
9月14日～15日 柏崎市 (参加者51名)	<p>話題提供「柏崎市の概要」「柏崎市社協の歴史とこれから」 「柏崎市社協のこれからの姿」 柏崎市社会福祉協議会 常務理事 高橋 昭彦</p> <p>取組紹介「第三次柏崎市地域福祉活動計画策定 プロセスと概要」 「こども食堂への取組みについて」 柏崎市社会福祉協議会 地域福祉課 課長代理 小竹 成直</p> <p>「柏崎市社会福祉協議会生活支援係の取組みについて」 柏崎市社会福祉協議会 地域福祉課 課長代理 大塚 真光子</p> <p>視察「柏崎市史跡 豪農の館『飯塚邸』」 「高齢者生活支援施設『結の里』経由、北条デイサービスセンター」</p> <p>懇談・情報交換会 柏崎市長 櫻井 雅浩</p> <p>話題提供・情報交換会「市町村社会福祉協議会と地域福祉事業」 立正大学 社会福祉学部 講師 川本 健太郎</p>

### (4) 市町村社協課題別研修会

市町村社協の地域福祉担当者等を対象に、階層別、課題テーマ別に業務推進に必要とされる知識や技術の習得を図ることを目的に研修会等を開催した。

#### ① 社協新任及び初級職員研修

期日・場所等	内 容
5月11日～12日 新潟市 (参加者28名)	<p>講義「社会福祉協議会を取り巻く環境の変化」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課 課長 井浦 佐敏</p> <p>講義「組織活動の基本」 新潟県社会福祉協議会福祉人材課 主査 河野 弘輝</p> <p>演習「アイスブレイクと導入」 新発田市社会福祉協議会地域福祉課 課長補佐 川瀬 聖志 聖籠町社会福祉協議会総務福祉活動部 主事 宮下 修平 新潟県社会福祉協議会福祉人材課 主事 山本 実央</p> <p>ミニトーク「駆け出し社協職員の挑戦」 聴き手: 関川村社会福祉協議会地域福祉活動係 福祉活動専門員 平田 達哉 語り手: 柏崎市社会福祉協議会地域福祉係 主事 飯塚かれん 燕市社会福祉協議会放課後等デイサービス事業所 主事 土田 将嗣</p> <p>講義「社会福祉協議会と災害支援」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課 課長代理 佐藤 正弥</p> <p>演習「社会福祉協議会の実務」 魚沼市社会福祉協議会地域福祉課 課長 坂大 優 南魚沼市社会福祉協議会地域福祉係 係長 本多 博樹 見附市社会福祉協議会地域福祉係 係長 齊藤 高史</p>

## ② 市町村社協事務局長会議

県内市町村社協の事務局長が一堂に会し、諸課題に対する議論を深めるとともに情報を共有することを目的に開催した。

期日・場所	協 議 事 項
6月30日 新潟市 (参加者36名)	① 平成29年度新潟県社会福祉協議会事業計画について ② 平成29年度市町村社会福祉協議会の重点事業等について ③ その他

## ③ 課題別研修会

### ア 社協が生活支援体制整備事業に取り組む意義

期日・場所等	内 容
9月22日 長岡市 (参加者72名)	講演「社協が生活支援体制整備事業に取り組む意義」 日本社会事業大学社会福祉学部福祉計画学科 准教授 菱沼 幹男 実践報告「社協における生活支援体制整備事業への取り組み」 魚沼市社会福祉協議会介護福祉課 課長 横山 京子 燕市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係 主事 渡邊 誠 コーディネーター： 日本社会事業大学社会福祉学部福祉計画学科 准教授 菱沼 幹男 意見交換「社協の強みをいかした生活支援体制整備事業とは」

### イ “福祉” と “司法” の連携の輪を広げる

期日・場所等	内 容
10月13日 上越市 (参加者27名)	リレー講座 テーマ①「災害時における弁護士の役割と災害VCとの連携 ～糸魚川 駅北大火での実践を通して見えてきた形とこれから～」 糸魚川きぼう法律事務所 弁護士 小出 薫 テーマ②「虐待ケースにおける福祉と司法の連携・協働による支援 ～虐待防止法の理解と実践～」 金子法律事務所 弁護士 金子 直樹 テーマ③「住民主体の地域づくりに向けた厄介なハードル！？個人情報 保護法の正しい理解」 弁護士法人北辰法律事務所 弁護士 佐藤 慎之助

## ④ 広報研修会

期日・場所等	内 容
9月6日 新潟市 (参加者34名)	講義・講座「魅せる広報誌を考える」 新潟日报社 編集局整理部 部長代理 永田 央基

### ⑤ 平成29年度地域福祉推進セミナーの開催

期日・場所等	内 容
7月26日 三 条 市 (参加者58名)	講義Ⅰ「我が事・丸ごとの地域づくりと社協の事業・活動」 全国社会福祉協議会地域福祉部 副部長 平井 康元 講義Ⅱ「社協・生活支援活動強化方針の見直しと第2次アクションプランの策定」 全国社会福祉協議会地域福祉部 副部長 平井 康元 グループディスカッション「新たな地域福祉施策を踏まえた社協の取り組み」

### (5) 福祉施策や動向に関する情報提供

#### ① 新潟県社協メール情報の発信

市町村社協に新潟県社協メール情報を随時発信し、全国情勢等の福祉情報提供を行った。

▶ 配信数及び提供記事数：29回、161記事

### 推進目標3 ボランティア活動の振興

#### 1 ボランティア活動・社会貢献活動推進事業

##### (1) ボランティア活動の推進

#### ① 子どもの居場所づくりフォーラムの開催（再掲）

期日・場所等	内 容
12月16日 新 潟 市 (参加者117名)	基調講演「子どもをまん中においた地域共生の未来」 講師：法政大学現代福祉学部福祉コミュニティ学科教授 湯浅 誠 パネルディスカッション「子どもを中心としたこれからの地域ネットワークづくり」 パネラー：元気百倍レストランなじよも 佐野 政光 笑顔いっぱいまんまる食堂 唐橋 聡 子どもにじいろカフェ 西川 紀子 コーディネーター 新潟県立大学人間生活学部子ども学科准教授 小池 由佳 コメンテーター：法政大学現代福祉学部福祉コミュニティ学科教授 湯浅 誠

##### (2) 災害救援活動の推進

#### ① 災害救援活動に関する人材養成事業（研修開催）

災害救援活動を的確に遂行できる社協職員の養成を目的に研修会を開催した。

[災害支援コーディネーター養成研修会（新潟県災害ボランティア調整会議と共催）]

## ア 初級編

期日・場所	内容
2月19日～20日 新潟市 (参加者28名)	<p>&lt;1日目&gt;</p> <p>「災害支援とは」 チーム中越事務局長 河内 毅</p> <p>「初級研修のねらい」</p> <p>にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄</p> <p>「被災者と向き合った支援」 スプーンフィールド代表 高橋 和枝</p> <p>&lt;2日目&gt;</p> <p>「1日目の振り返り」</p> <p>にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄</p> <p>「被災者のニーズをキャッチする」</p> <p>(株)野村防災取締役 野村 卓也ほか</p> <p>「初級2日間の振り返り」</p> <p>にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄</p>

## イ 中級編

期日・場所	内容
3月12日～13日 新潟市 (参加者26名)	<p>&lt;1日目&gt;</p> <p>「中級研修のねらい」</p> <p>にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄</p> <p>「多様なセクターとの連携の必要性和支援者に求められること」</p> <p>全国社会福祉協議会</p> <p>全国ボランティア・市民活動振興センター副部長 園崎 秀治</p> <p>「発災・復旧・復興への道のり」</p> <p>コーディネーター：チーム中越事務局長 河内 毅</p> <p>▶パネリスト：くび野NPOサポートセンター事務局長 近藤尚仁</p> <p>中越防災安全推進機構・復興まちづくり情報センター長 野村 祐太</p> <p>糸魚川市社会福祉協議会総務係長 嶋田 友宏</p> <p>「災害支援における人・物・資金」</p> <p>新潟県社会福祉協議会</p> <p>&lt;2日目&gt;</p> <p>「1日目の振り返り」</p> <p>にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄</p> <p>「事例検討」</p> <p>(株)野村防災取締役 野村 卓也ほか</p> <p>「災害ボランティアセンターにおける広報と情報発信・管理」</p> <p>N u k i i t o代表高山 弘毅</p> <p>「ファシリテーション技術力」</p> <p>にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄</p> <p>「中級2日間の振り返り」</p> <p>にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄</p>

**② 市町村社協災害ボランティア担当者会議**

期日・場所等	内 容
12月8日 三 条 市 (参加者32名)	<p>講義Ⅰ</p> <p>『災害ボランティアセンターを通じた被災者支援～地域力を活かした支援と求められる受援力～』</p> <p>全国社会福祉協議会地域福祉部 全国ボランティア・市民活動振興センター副部長 園崎 秀治</p> <p>対談</p> <p>『誰のための何のための災害ボランティアセンターなのか～社協が目指す被災者支援とは～』</p> <p>全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター副部長 園崎 秀治 にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄</p> <p>講義Ⅱ</p> <p>『災害時の連携の必要性と、支援者に求められること』</p> <p>全国社会福祉協議会地域福祉部 全国ボランティア・市民活動振興センター副部長 園崎 秀治</p> <p>リレートーク</p> <p>『県内市町村社協の取り組みについて』</p> <p>◇『長岡市協働型災害ボランティアセンターの運営』</p> <p>長岡市社会福祉協議会 三島支所地域福祉係 主任 河井 大介 同 権利擁護支援課 主事 諸橋 克哉</p> <p>◇『災害時における地域支え合いの体制づくり』</p> <p>阿賀野市社会福祉協議会 地域福祉課主任 石塚 貴之</p> <p>◇『災害時に備える地域防災マップづくり』</p> <p>関川村社会福祉協議会 地域福祉活動係福祉活動専門員 平田 達哉</p> <p>演習</p> <p>『期待される総合的な支援を考える』</p> <p>にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄</p>

**③ 県内社協における災害救援活動に関する相互支援協定締結社協の連絡名簿の整備**

災害時において連絡調整を円滑に行うため、相互支援協定締結社協の連絡名簿を更新整備した。

**④ 大規模災害に備えた市町村社協組織運営に関する重要書類の保管**

大規模災害等で書類紛失に備え、県内全市町村社協の組織運営に関する重要書類である定款及び諸規程、役員名簿、事業実施報告書及び決算書、事業実施計画書及び予算書の保管、整備を行った。

**⑤ 災害発生時におけるボランティア活動に関する情報収集及び発信**

**ア 県外における災害への対応**

全社協並びに関東ブロック都県政令指定都市社協と連携のもと、被災地の被害状況や災害ボランティアセンターの開設状況などに関する情報の収集及び発信に努めた。

**イ 県内における豪雪への対応**

県内の豪雪に対応するため、新潟県内における積雪・降雪及び被害状況、除雪ボランティア募集情報、除雪ボランティア活動状況などに関する情報の収集及び発信に努めた。

**⑥ 「糸魚川市駅北大火」被災地支援**

糸魚川社協において生活支援相談員を新たに配置するにあたり、教育研修会を開催した。

期日・場所等	内 容
7月3日 糸魚川市 (参加者7名)	概況報告「糸魚川市社協の被災者支援取り組み概要」 糸魚川市社会福祉協議会 事務局次長 渋谷千加子 同 総務係長 嶋田 友宏 講義「生活支援相談員の取り組みについて」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課 大掛 幸夫 質疑応答・意見交換

**(3) 民間社会福祉施設備品整備助成事業**

民間社会福祉施設の備品等整備の充実を支援するため、社会福祉基金の運用益を助成した。

助成件数・額	助成対象備品・助成施設種別
19件 2,910,000円	<b>[助成対象備品]</b> 防火・防災対応に係る備品(発電機、防災カーテン、ヘルメット等) <b>[助成施設種別]</b> 救護施設・障害者支援施設(施設入所支援) 障害者共同生活援助(グループホーム)

**(4) 県民たすけあい基金運用益助成事業の推進**

管理運営委員会において、基金の管理・運営・基金助成事業の実施方策等を審議し、基金事業の適正な管理・運営並びに助成事業の効果的な実施に努めた。

**① 県民たすけあい基金管理運営委員会**

期日・場所	協 議 事 項
第1回 6月21日 新潟市	<b>[協議事項]</b> ・委員長及び副委員長の選任について ・平成28年度助成事業実施状況及び収支決算、平成29年度収支予算について ・平成29年度第2回助成事業の採択について
第2回 3月5日 新潟市	<b>[協議事項]</b> ・平成29年度助成事業実施状況及び収支決算見込、平成30年度収支予算について ・平成30年度第1回助成事業の採択について

## ② 県民たすけあい基金運用益助成事業

ボランティアグループ等の活動を支援するため、活動に必要な経費を助成した。

助成事業	助成件数	金額(円)
ボランティアグループ・団体が行う活動事業	52	17,779,000
学習・研修事業	( 5)	(1,227,000)
福祉教育・啓発事業	(11)	(4,733,000)
調査研究事業	( 0)	( 0)
活動に必要な機器等整備事業	(11)	(2,567,000)
サービス活動事業	(25)	(9,252,000)
市町村社協・ボランティアセンターが行うボランティア活動振興事業	5	2,260,000
学習・研修事業	( 0)	( 0)
福祉教育・啓発推進事業	( 1)	( 270,000)
災害ボランティア活動推進事業	( 3)	(1,495,000)
その他試行的・モデル的事业	( 0)	( 0)
ボランティア活動の拠点整備事業	( 1)	( 495,000)
東日本大震災避難者支援団体が行うボランティア活動振興事業	0	0
東日本大震災避難者支援事業	(0)	( 0)
自殺予防支援事業	6	2,292,000
自殺予防支援事業	(6)	(2,292,000)
県社協が行うボランティア活動振興事業	1	1,500,000
ボランティア活動振興事業	(1)	(1,500,000)
合 計	64	23,831,000

## (5) 寄付等の受入調整

企業等の社会貢献活動が積極的に行われるよう、福祉の現状等の情報を企業等へ提供するとともに寄付・寄贈や招待事業などの調整を行った。

寄付種別	寄付内容・寄贈配分先
現金25件 3,837,894円	社会福祉基金寄付金 9件 369,765円 災害ボランティア基金寄付金 3件 335,069円 ファンドレイジング福祉にいがた 1件 93,368円 社会福祉施設等指定寄付金 12件 3,039,692円 福祉施設 13件(高齢9、障害4)、ボランティア団体13件、社協1件
物品7件	車両、すし折詰、カップ麺、車椅子等施設備品他 福祉施設37件、NPO法人8件

## (6) 寄付のマッチング事業（ファンドレイジング福祉にいがた）

新潟県内に寄付の文化を根付かせ、福祉活動や地域活動等の自主財源の確保を通じて地域福祉の推進に寄与することを目的に寄付のマッチングサイト（ファンドレイジング福祉にいがた）の運営

① ファンドレイジング福祉にいがた活用研修会

期日・場所等	協 議 事 項
10月10日 新潟市 23名	講義・演習「ファンドレイジング福祉にいがたを活用しよう」 講師：NPO 法人明日育 常務理事・事務局長 長井 一浩 講師：有限会社 トラスト 代表取締役 目黒 大樹
10月19日 上越市14名	
10月20日 新発田市13名	

**推進目標 4** 関係機関・団体との連携・支援の推進

1 関係機関・団体との連携・支援事業

(1) 種別協議会や当事者団体等の連携・調整活動

① 福祉団体等懇談会

県内の福祉団体が相互の連携を深め、情報交換を図ることを目的に懇談会を開催した。

期日・場所等	協 議 事 項
第1回 6月20日 新潟市	① 行政説明 新潟県福祉保健部長 藤山 育郎 ② 情報交換 ③ 懇談
第2回 2月15日 新潟市	① 平成30年度新潟県福祉団体共同要望への対応状況について ② 行政説明 新潟県福祉保健部福祉保健課長 土田 まゆみ ③ 情報交換 ④ 懇談

② 福祉団体との連携・協働を基盤とした政策提言・要望活動

ア 県知事及び県福祉保健部長に対する要望活動

期日・場所等	出 席 者
12月21日 新潟市	[要望先] 新潟県知事 米山 隆一 新潟県福祉保健部長 藤山 育郎 [出席者名] ・新潟県社会福祉協議会会長 竹内 希六 ・新潟県民生委員児童委員協議会副会長 本多 満利子 ・新潟県老人福祉施設協議会会長 高橋 是司 ・新潟県老人クラブ連合会会長 光村 利寛 ・新潟県身体障害者団体連合会常務理事 竹森 登志男 ・新潟県手をつなぐ育成会理事長 五十嵐 勝彦 ・新潟県精神障害者家族会連合会理事長 江口 道夫 ・新潟県母子寡婦福祉連合会会長 中野 キン子 ・新潟県社会福祉士会会長 星井 勝博 ・新潟県介護福祉士会会長 宮崎 則男 ・新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会会長 竹内 希六

### ③ 福祉団体の自主活動への共催・後援等

期日・場所	大会名・団体名
4/29 新潟市	新潟県ダンススポーツ選手権大会 (新潟県ダンス連合)
5/13 新潟市	第5回フードバンクにいがた総会記念シンポジウム (フードバンクにいがた)
5/13 新潟市	交通事故被害者支援新潟講習会 (交通事故被害者家族ネットワーク)
5/21 新潟市	第18回新潟県障害者スポーツ大会 (新潟県)
5/26 新潟市	第62回新潟県保育事業研究大会 (新潟県保育連盟)
6/5 新潟市	「地域包括ケアの総合事業について～地域力・住民力で安心まちづくり～」 (新潟県社会福祉士会)
6/17 新潟市	全国障害者問題研究会新潟支部子どもの発達講演会 (全国障害者問題研究会新潟支部)
6/20～7/19	新潟県薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 (新潟県薬物乱用対策推進本部)
6/24 聖籠町	第22回新潟県手をつなぐ育成会新潟大会 (新潟県手をつなぐ育成会)
7/1 新潟市	平成29年度新潟県ホームヘルパー研究大会 (新潟県ホームヘルパー協議会)
7/7 新潟市	第48回新潟県精神障害者家族会連合会大会 (新潟県精神障害者家族会連合会)
7/8 新潟市	ソーシャルワーカーデー in にいがた2017 (新潟県社会福祉士会)
7/16 柏崎市	新潟県中越沖地震10周年合同追悼式 (新潟県・柏崎市・刈羽村)
7/29～31 新潟市	ミュージックケア第21回全国セミナー (日本ミュージックケア協会)
7/29～11/4 新潟市	第30回社会福祉士国家試験受験対策講座 (新潟県社会福祉士会)
8/22 南魚沼市	第28回南魚沼地区社会福祉大会 (南魚沼地区社会福祉大会実行委員会)
8/22～8/23 新潟市	平成29年度地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修 (新潟県社会福祉士会)
9/9～10 三条市	第17回新潟県聴覚障害者大会 (新潟県聴覚障害者協会)
9/18～19 燕市	新潟県高齢剣友会創立10周年記念剣道交流大会 (新潟県高齢剣友会)
9/30～10/1 長岡市	来て、見て、学ぼう!みんなの防災フェア&スマートエネルギーフェア2017
10/1 新潟市	新潟県視覚障害者福祉大会・新潟県視覚障害者文化祭 (新潟県視覚障害者福祉協会)
10/1 魚沼市	第41回新潟県聴覚障害者球技大会 (新潟県聴覚障害者協会)
10/7 佐渡市	佐渡金銀山現地ボランティアツアー (新潟県教育庁文化行政課)
10/9 新潟市	赤い羽共同募金応援チャリティゴルフコンペ (新潟県共同募金会)
10/9 新潟市	きょうされん秋の学習会 (きょうされん新潟支部)
10/11～20 新潟県	新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間・全国地域安全運動の実施と県民大会
10/12 柏崎市	第53回新潟県老人福祉大会 (新潟県老人クラブ連合会)
10/14 新発田市	2017年度敬和学園大学共生社会学科公開学術講演会 (敬和学園大学)
10/14 新潟市	新潟県保育士会創立60周年記念式典 (新潟県保育士会)
10/20 長岡市	第34回がん征圧新潟県大会 (新潟県健康づくり財団)
10/25 新発田市	第40回北越銀行賞表彰式 (北越銀行)
10/26 新潟市	第17回全国障害者スポーツ大会新潟県・新潟市選手団結団式 (新潟県)
10/28 上越市	平成29年度上越市社会福祉大会 (上越市社会福祉協議会)
10/29 新潟市	第16回新潟県障害者芸術文化祭 (第16回新潟県障害者芸術文化祭実行委員会)
11/7 新発田市	第50回新潟県身体障害者福祉大会 (新潟県身体障害者団体連合会)
11/12～19 新潟市	第4回新潟県高等学校ボランティア大会 (新潟県高等学校文化連盟)
11/12 三条市	第13回三条市民福祉大会 (三条市社会福祉協議会)
11/13 新潟市	第42回クリスマスチャリティ公演 (日産労連新潟地方協議会)

11/15	長岡市	新潟県民生委員児童委員大会	(新潟県民生委員児童委員協議会)
11/18	新潟市	第11回東日本大震災チャリティイベント「百花繚乱2017」	(新潟恩返しプロジェクト)
10/14	新潟市	新潟県保育士会創立60周年記念式典	(新潟県保育士会)
12/9	新発田市	ふくしの集い	(新発田市社会福祉協議会)
12/17	胎内市	平成29年度胎内市社会福祉大会	(胎内市社会福祉協議会)
1/19	新潟市	研修会「地域共生～地域でともにいきる～」	(新潟県社会福祉士会)
2/15	新潟市	第7回新潟産学官連携フォーラム in 新潟医療福祉大学	(にいがた産業創造機構)
3/3~4	五泉市	第28回耳の日フェスティバル	(新潟県聴覚障害者協会)
2/10	新潟市	平成29年度新潟県医療社会事業担当者研修会 (新潟県医療ソーシャルワーカー協会公開講座)	(新潟県医療ソーシャルワーカー協会)

## (2) 全国・関東ブロック研修会等の本県での開催に対する支援・協力

- ① 第54回関東甲信越肢体不自由児者父母の会連合会新潟大会
  - ▶7月1日 新潟市(参加者数416名) 式典、基調講演、パネルディスカッション等
- ② 第53回関東ブロック老人福祉施設研究総会(新潟大会)
  - ▶9月7日～9日 新潟市(参加者数1,085名) 基調報告、記念講演、分科会等
- ③ 第71回関東地区母子寡婦福祉研修大会
  - ▶9月24日 長岡市(参加者数366名) 記念講演、分科会、シンポジウム等
- ④ 平成29年度第77回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会
  - ▶9月28日～29日 湯沢町(参加者数340名) 式典、記念講演、分科会
- ⑤ 第66回北信越ろうあ者体育大会
  - ▶6月24日～25日 上越市(参加者数225名) 野球、卓球、ゲートボール、ボウリング、バドミントン

## (3) 福祉団体業務の受託等による支援・協力

福祉団体の事務局業務を受託し、運営・活動の充実に支援・協力した。

- ① 新潟県社会福祉法人経営者協議会
- ② 新潟県社会福祉法人経営者協議会青年部会
- ③ 新潟県内社協職員連絡会
- ④ 新潟県災害ボランティア調整会議
- ⑤ 新潟県社会就労センター連絡協議会

## 2 災害福祉広域支援ネットワーク事業の推進〈活動指針〉

平成26年3月、県内福祉関係10団体(H29.4月現在:13団体)が横断的に連携した「新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」が発足し、災害福祉支援チームの派遣をはじめとした活動を連携・協力して行い、災害時における要配慮者の安全・安心の確保に向けて活動している。

**(1) 災害福祉広域支援ネットワーク協議会総会・幹事会の開催**

期日・場所等	協 議 事 項
総会 6月26日 (新潟市)	[主な検討・協議事項] ・災害時における要配慮者支援に関する協定書(素案)について ・災害福祉支援チームの設置について
幹事会 第1回 5月24日 第2回 8月31日 第3回 1月18日 第4回 3月20日 (新潟市)	[主な検討・協議事項] ・派遣協力に関する県との協定について ・災害時要配慮者支援に関する県との協定締結について ・災害福祉支援チーム員の推薦・募集について ・東北6県連携への参画について

**(2) 災害時における要配慮者支援体制の整備に向けた取組等**

[主な内容]
① 災害時における要配慮者支援に関する県との協定の締結（平成29年9月12日）
② チーム支援活動の県地域防災計画への位置付け（次期修正版に反映）
③ チーム活動マニュアルの策定
④ 災害福祉支援チームの研修・訓練の実施（11月17日・新潟市・51名参加）
⑤ チーム研修・訓練用備品等の整備
⑥ ネット協HPの掲載内容の拡充
⑦ 他県情報の収集（福島県・群馬県）ほか

**(3) 災害福祉広域支援セミナーの開催**

期日・場所等	内 容
3月1日 新潟市 (参加者 152名)	【情報提供】 「新潟県災害福祉支援チームについて」 新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会 代表幹事 竹之内 隆 明  【事例紹介】 「命を守り暮らしを支える避難所への取組」 三条市福祉保健部福祉課 課長補佐 中 村 琢 哉  【講 演】 「公民協働でつくる災害福祉の体制づくり・人づくり」 株式会社富士通総研 行政経営グループ チーフシニアコンサルタント 名 取 直 美

**(4) 防災訓練への参加・協力**

期日・場所等	内 容
9月2日 上越市	○ 県・上越市総合防災訓練 避難所設置訓練参加 災害福祉支援チーム PR・パネル展示

## 基本方針Ⅲ 一人ひとりの自立生活づくり

### 推進目標 1 高齢者の社会参加の促進

#### 1 明るい長寿社会づくり推進事業

##### (1) 長寿社会振興センター運営協議会

期日・場所	協議事項
3月2日 新潟市	・議長の選任について ・平成29年度事業実施状況について ・平成30年度事業計画について

##### (2) 第22回にいがたねんりんピック

高齢者のスポーツ大会を通じ、ふれあいと活力ある長寿社会の実現をめざすことを目的に開催した。

期日・場所	内容
5月14日～ 平成30年2月18日 県内8市村	[スポーツ交流大会] ・5月14日～平成30年2月18日(実日数10日間)、1,036名参加 ・競技種目12種目(ゲートボール、テニス、ペタンク、ソフトボール、ソフトバレーボール、ゴルフ、卓球、ソフトテニス、弓道、バウンドテニス、剣道、太極拳) ・全国健康福祉祭への派遣選手選考

##### (3) 全国健康福祉祭(ねんりんピック)派遣

全国健康福祉祭(ねんりんピック)に選手を派遣した。

期日・場所等	内容
9月9日～12日 秋田県 (115名派遣)	[県選手団結団式] 9月8日 アートホテル新潟駅前(越後西) [参加種目] ▶スポーツ交流大会(10種目:卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道) ▶ふれあいスポーツ交流大会(4種目:太極拳、サッカー、ソフトバレーボール、ダンススポーツ) ▶文化交流大会(2種目:囲碁、将棋) [主な成績] 優勝:太極拳 ベスト8:卓球、ソフトテニス、ゲートボール

##### (4) 世代間交流事業(福祉・介護・健康フェア2017同時開催)

高齢者の健康及び文化活動を通じて、地域間、世代間のふれあいと交流を図り、高齢者の社会参加や生きがいづくりの推進を目的に開催した。

期日・場所等	内 容
11月19日 新潟市 (入場者17,700名)	<p><b>[交流ブース]</b></p> <p>「おもちゃ病院（おもちゃドクター）によるおもちゃ修理、木工教室」 新潟の木工道 代表 大沢 博雄 スタッフ 11名</p> <p>「体力測定及び効果的運動のアドバイス」 新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科教授 佐藤 敏郎 学生 8名</p> <p><b>[講演]</b></p> <p>「アースマラソンの裏側すべて話します！」 間 寛平</p>

## (5) 高齢者大学の開講

高齢者に学習の機会を提供することと併せて、仲間づくりや地域活動の担い手を養成することを目的に、新潟市、長岡市、上越市において高齢者大学を開講した。

### ① 高齢者大学運営委員会

期日・場所	協 議 事 項
10月2日 12月20日 新潟市	<p><b>[報告事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度新潟県高齢者大学の運営状況について</li> </ul> <p><b>[協議事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度新潟県高齢者大学の運営について</li> <li>新潟県高齢者大学名称変更について（シニアカレッジ新潟に名称変更決定）</li> </ul>

### ② 講座の開設

- ▶ 講師 約60名（弁護士、医師、大学教授、薬剤師、管理栄養士、介護福祉士、NPO関係者等）

期日・修了者等	内 容（講座数）
基礎課程 1年次 5月～10月 (14日間17講座) (修了者134名)	<p>社会・生活 (6)、健康 (3)、福祉 (2)、地域活動 (4)、 特別講座 (1)</p> <p>新潟会場 2クラス 長岡会場 1クラス 上越会場 1クラス</p>
応用課程 2年次 4月～10月 (14日間18講座) (修了者122名)	<p>社会・生活 (6)、健康 (3)、福祉 (2)、地域活動 (4)、 特別講座 (1)</p> <p>新潟会場 2クラス 長岡会場 1クラス 上越会場 1クラス</p>

ボランティア体験コース（傾聴） 7月 （3日間） （修了者24名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傾聴の基本</li> <li>・寄り添うことをめぐって</li> <li>・傾聴ロールプレイ／つながりのワーク</li> <li>・こころの健康</li> <li>・ボランティア活動「地域での見守り活動」</li> </ul>
暮らしと環境（食育）コース 6月～7月 （3日間） （修了者25名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「食育について」 「新潟の郷土料理」 「韓国の郷土食と地産地消」 「生産量1位 新潟のかまぼこについて」 「果物農家さんの一年」</li> <li>・調理実習</li> <li>・かまぼこ作り</li> </ul>
認知症予防脳活性・筋トレコース 9月～10月 （3日間） （修了者34名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「高齢者の身体について」「認知症予防と筋肉について」 「手先、指先を動かして脳を活性化」 「作って楽しい革細工」</li> <li>・実技「体力測定」「自宅、地域で簡単にできる運動」 「革細工を作ろう！」</li> </ul>
地域の茶の間体験コース 7月～8月 （3日間） （修了者15名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「地域の中で私が役立つこと」</li> <li>・活動体験「実家の茶の間・紫竹」</li> <li>・地域の茶の間の運営について</li> <li>・暮らしの中の介護の工夫、まとめ、情報交換</li> </ul>
まちかどふれ愛英会話コース 6月～7月 （4日間） （修了者32名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「声のかけ方、たずね方」 「お困りの外国人への道案内」 「新潟の観光地や名産品を伝えてみよう」 「実際に外国の方と話してみよう」</li> </ul>
元気塾スポレクコース 7月 （3日間） （修了者13名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「スポーツと健康」</li> <li>・実技「レク式体力チェック」「スポーツ・レクリエーション（スポレク・サーキット、スラックライン、クップ）」「レク式バイアスロン（ブローライフル・ポールウォーキング）」</li> </ul>
地域再発見良寛の里コース 9～10月 （4日間） （修了者24名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「良寛と貞心尼」「良寛の書」</li> <li>・実技「まち歩き（柏崎）貞心尼歌碑群、常福寺、釈迦堂跡、柏崎市図書館、不求庵跡、洞雲寺、極楽寺他」「まち歩き（三条）八幡宮、定明寺、宝塔院・地震亡霊塔、神明宮、三条市立図書館」「まち歩き（寺泊）法福寺、白山媛神社、照明寺密蔵院、本間精一郎誕生の地、硯水の霊井」「まち歩き（分水）良寛遺墨鑑賞、専念寺 本町通り歌碑群、中村家、願王閣、心月輪碑」</li> </ul>

### ③ 高齢者大学運営協力員の委嘱と協力員会議

大学の円滑な運営と高齢者による大学運営の自主性を高めるため、高齢者大学の卒業生の中から「大学運営協力員」を委嘱した。

- ▶ 運営協力員の委嘱者数16名
- ▶ 運営協力員会議の開催（2回開催11月29日、3月1日）

## (6) 社会活動実践者等交流・仲間づくりの促進

### ① 同窓会事業

高齢者大学卒業生が一堂に集い、交流を深めるとともに地域活動のリーダーとして仲間づくりや社会活動への参加促進と活動の広がりを図ることを目的に同窓会事業を行った。

#### ア 同窓会事業（中越地区研修旅行）

期日・場所等	内 容
10月19日～20日 中越地区 ・ 群馬県  (参加者64名)	・講演会「私のスポーツ人生～“80歳”楽しく世界に挑戦！」 2016年世界マスターズ陸上 やり投げチャンピオン 吉川 修 ・「卒業後の活動発表」 新潟地区2名、長岡地区1名、上越地区1名 ・山古志の復興と群馬世界遺産を学ぶ 木籠集落、おらたる、中山隧道、富岡製糸場、臨江閣

#### イ 同窓会事業企画会議

同窓会事業の円滑な運営と高齢者による事業の自主性を高めるため、高齢者大学の卒業生の中から「同窓会事業企画員」を委嘱した。

- ▶ 企画員の委嘱者数9名
- ▶ 企画会議の開催（12回開催 4月～3月）

#### ウ 同窓会事業地区連絡会代表者会議

同窓会事業の円滑な運営を図るため、上・中・下越3地区において意見交換の場とする連絡会を設置し、各地区のクラス代表による連絡会議を開催した。

地区連絡会代表者：平成21年度～28年度卒業のクラス代表者

地区会議の開催：各地区2～13回開催（4月～3月）

#### エ 長岡地区同窓会講演会

日 程：平成29年3月13日（火）

場 所：アトリウム長岡

参加者：84名

講 師：国立長岡工業高等専門学校 名誉教授 佐藤 和秀

演 題：「地球は壊れていくのか～南極から見た地球の環境～」

## ② 高齢者等の居場所づくり促進事業

シニア世代を対象に、住み慣れた地域の現状を知り、一人ひとりの自己実現と、よりよい高齢社会を生きるためのヒントとなる講座を3回シリーズで開催した。

### ア 高齢期を豊に生きるための暮らし方講座

期日・場所等	内 容	
第1回 1月23日 新潟市 (参加者59名)	基調説明「新潟県の高齢化の現状」 新潟県高齢福祉保健課副参事 基調講演「一人ひとりの自己実現をめざして」 支え合いのしくみづくりアドバイザー 関係団体事業紹介 ・新潟県シルバー人材センター連合会事務局長 ・新潟県立生涯学習推進センター所長 ・新潟市地域包括支援センター曾野木両川管理者 ・新潟市ボランティア・市民活動支援センター長	田村 一義 河田 圭子 阿部 文男 井口 和司 天児 拓 春日 雅子
第2回 1月30日 新潟市 (参加者55名)	基調講演「長寿時代を良く生きて良く逝くために」 Ilc-japan 国際長寿センター日本事務局長 「ワークショップ」 コーディネーター：支え合いしくみづくりアドバイザー	志藤 洋子 河田 圭子
第3回 2月8日 (参加者45名)	基調講演「ひとりで生きる、みんなで生きる！」 元NHKアナウンサー、福祉ジャーナリスト シニアの活動紹介 ・「自宅をシェア大学生と暮らして」 NPO 法人リブ&リブ代表理事 ・「認知症カフェ～それぞれの居場所～」 認知症の人と家族の会世話人 ・「私の地域活動～自治会、貯筋運動、老人クラブ～」 新潟県高齢者大学 平成24年度卒業生	村田 幸子 石橋 鏡子 神保 みゆき 岡村 武憲

## 推進目標2 高齢者への生活支援の充実

### 1 高齢者総合相談センター事業

#### (1) 相談事業

高齢者とその家族等が抱える生活全般の心配ごとや悩みごと相談にあたった。

##### ① 相談の概要

一般相談開設日数	専門相談開設日数	相談者数	相談延べ件数
244日 (月平均20.3日)	58日 (月平均4.8日)	1,482人 (月平均123.5人)	1,769件 (月平均147.4件)

##### ② 相談者数・相談種別・相談方法

相談者人数			相談種別		相談方法		
男性	女性	計	一般	専門	電話	来所	手紙
308人	1,174人	1,482人	1,346人	136人	1,349人	132人	1人
20.8%	79.2%	100.0%	90.8%	9.2%	91.0%	8.9%	0.1%

### ③ 相談内容

家族・家庭	法律	経済・生活	福祉サービス	生きがいづくり	保健・医療	合計
613件	398件	482件	157件	25件	94件	1,769件
34.7%	22.5%	27.2%	8.9%	1.4%	5.3%	100.0%

### ④ 専門家が受けた相談件数

法律 (弁護士)	不動産利活用 (不動産鑑定士)	合計
131件	11件	142件
92.3%	7.7%	100.0%

### ⑤ 他機関への紹介や委任件数

行政機関	相談機関	施設等	その他	合計
90件	94件	8件	33件	225件
40.0%	41.8%	3.6%	14.6%	100.0%

## (2) 相談担当者の資質向上

### ① 高齢福祉相談担当職員等研修会

市町村、社会福祉協議会、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等の職員を対象に研修会を開催し、相談員の資質の向上を図った。

期日・場所等	内 容
10月20日 新 潟 市 (参加者136名)	[ 人の話を聞くということ ～心の病や認知症など気になる方への対応について～ ] 講義 「聞く」ことの意義と価値 講義 効果的な聞き方の心得 演習 聞き方トレーニング 講義 聞く能力をさらにたかめるために 株式会社話し方教育センター 講師 佐藤 敬子

## (3) 相談業務情報の提供等

### ① 県社協広報誌やマスコミ等を通じ相談についての情報提供・広報

- ▶ 高齢者福祉総合情報誌「にいがたオアシス21」に活動状況等を掲載（年3回）
- ▶ 高齢者総合相談センターリーフレット(20,000部)、ポスター(550部)、名刺サイズリーフレット(75,000部)を作成・配布及びNTT電話帳に広告掲載

### ② 県内各種相談窓口ガイドの作成・提供

- ▶ 県内の相談機関の所在情報等を集約した冊子「相談のみちしるべ」を作成し、市町村等の相談機関へ提供（1,500部）

### 推進目標3 障害者の社会参加の促進

#### 1 福祉の店パレット新潟店運営事業

##### (1) 店舗販売等

福祉施設で作られた製品の展示・販売を行い、各種イベント等を通して広く県民とのふれあいの場として「福祉の店パレット」を運営し、障害者の就労や生きがい、社会参加の促進と県民に対する福祉への理解促進に努めた。

▶ 新潟ユニゾンプラザ内の常設店での販売実績（総売上額：14,111,477円）

##### ① 運営委員会

期日・場所	協議事項
3月12日 新潟市	・平成29年度売上状況について ・今後の販売促進について

##### (2) 周年祭（福祉・介護・健康フェア2017同時開催）

期日・場所	内容
11月19日 新潟市	・契約施設による即売会 参加施設 31施設、販売売上額 513,229円 ・各種イベントの実施 ガラポン抽選会、店舗紹介パンフレットの配布 ・「福祉・介護・健康フェア2017」との併催実施

##### ◎(3) 農福連携マルシェ委託事業（福祉・介護・健康フェア2017同時開催）

期日・場所	内容
10月28日 上越市	・出店事業所数と売上数 上越市 4事業所 売上 79,190円
11月5日 長岡市	・出店事業所数と売上数 長岡市 7事業所 売上 191,420円
11月19日 新潟市	・出店事業所数と売上数 新潟市 10事業所 売上 228,702円 ・法被の着用、かぼちゃの重さ当てクイズの実施

##### (4) 授産事業の活性化、自主製品の開発支援

##### ① 授産事業活性化研修会

授産施設指導職員等を対象に、授産事業の活性化に向けた新たな製品の開発や品質の向上を目的に研修会を開催した。

期日・場所等	内容
2月17日 新潟市 (参加者60名)	講義・演習「福祉施設商品コンプライアンス研修会」 講師：株式会社 生活品質科学研究所 チーフコンサルタント 高田かおり

##### (5) 障害者しごと体験事業

店舗販売を通じて障害者に就労体験の場を提供し、障害者の生きがいづくりと社会参加を促進するとともに、県民の障害者福祉への理解促進に努めた。

期日・場所	内 容
1月～3月 新潟市 パレット新潟店	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加施設3施設、体験人数7名</li> <li>業務内容 店内での商品の整理や陳列、お客様への声かけ、商品の袋詰め、納品受入の手伝い等販売員の補助業務</li> <li>業務時間 月～金曜日(原則5日間連続)、10時から13時までの3時間</li> </ul>

#### 推進目標4 生活の安定への支援

##### 1 生活福祉資金貸付事業

##### (1) 生活福祉資金等貸付事業

誰もが地域で安定した生活が送れるよう、市町村社協や民生委員、生活困窮者自立相談支援機関等の関係機関と連携し、低所得者、障害者又は高齢者の世帯に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図った。

▶ 生活福祉資金貸付審査等運営委員会

年6回開催・承認件数

福祉資金(福祉費)貸付7件、貸付元利金等の償還免除9件、延滞利子の免除1件

▶ 会長専決：・緊急等を要する借入申請について随時貸付決定

総合支援資金0件、福祉資金91件(福祉費14件、緊急小口資金77件)、  
教育支援資金49件の合計140件

・死亡、行方不明等の償還免除申請が不能の債権を随時償還免除決定

貸付元利金等の償還免除653件、延滞利子30件

▶ 償還実績：償還額 133,009千円 (当年度償還期限内償還率 76.23%)

##### ① 総合支援資金、福祉資金、教育支援資金の貸付

【申込・貸付決定実績】

	申 込		貸 付	
	件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)
総合支援資金(※)	1	240,000	0	0
生活支援費	1	240,000	0	0
住宅入居費	0	0	0	0
一時生活再建費	0	0	0	0
福祉資金	105	11,053,000	98	10,703,000
福 祉 費	22	4,903,000	21	4,869,000
緊急小口資金	83	6,150,000	77	5,834,000
教育支援資金	49	19,761,372	49	19,653,372
教育支援費	24	13,749,372	24	13,641,372
就学支度費	25	6,012,000	25	6,012,000
合 計	155	31,054,372	147	30,356,372

## ② 不動産担保型生活資金の貸付

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、当該不動産を担保として生活資金の貸付制度。

▶ 不動産担保型生活資金審査委員会：年3回開催

(③要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付審査を含む)

【申込・貸付決定実績】

	件数	金額(円)
申込	0	0
貸付	0	0

## ③ 要保護世帯向け不動産担保型生活資金の貸付

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居を所有し、又は住み続けることを希望する要保護の高齢者世帯に対し、当該不動産を担保として生活資金の貸付を行った。

【申込・貸付決定実績】

	件数	金額(円)
申込	2	9,400,000
貸付	1	5,600,000

## ④ 臨時特例つなぎ資金の貸付

離職者を支援するための公的給付制度又は公的貸付制度を申請している住居のない離職者に対し、当該給付金又は貸付金の交付を受けるまでの当面の生活費の貸付制度。

【申込・貸付決定実績】

	件数	金額(円)
申込	0	0
貸付	0	0

## ⑤ 高校生の授業料等滞納に係る教育支援資金の貸付

高等学校の授業料等をやむをえない事情により滞納した場合、滞納時まで遡及して当該滞納額(現在高)の貸付を行った。

【申込・貸付決定実績】※①表に含む(再掲)

	件数	金額(円)
申込	7	1,475,372
貸付	7	1,475,372

## ⑥ 教育支援資金教育支援費における特に必要と認める場合の貸付上限額を超える貸付

教育支援費で特に必要と認める場合に限り、貸付上限額の1.5倍の額まで貸付可能とする貸付を行った。

【申込・貸付決定実績】※①表に含む(再掲)

	件数	金額(円)
申込	1	540,000
貸付	1	540,000

## (2) 生活福祉資金等貸付・債権管理

### ① 初期滞納先に重点を置いた償還指導の実施

### ② 長期滞納先の個別管理と不良債権の削減

#### ア 当年度償還債権の償還率

28年度(%)	29年度(%)	対前年比(%)
74.06	76.23	+2.17

#### イ 初期滞納先の償還指導

償還指導先	滞納解消先	解消率(%)
247	163	65.99

#### ウ 市区町村社協巡回指導

実施期間	実施市区町村	指導対象人員	指導対象件数
6月～10月	36	104	605

#### エ 不良債権の削減

貸付元金削減額(円)
96,155,904

## (3) 生活福祉資金貸付事務担当者研修会

期日・場所等	内 容
第1回 7月26日 新潟市 (参加者38名)	説明1「生活福祉資金貸付事業の運営方針等」 説明2・演習「生活福祉資金貸付事業に係る段階別の業務内容」 説明3・演習「生活福祉資金貸付に係る業務内容」 説明4・演習「生活福祉資金償還に係る業務内容」 新潟県社会福祉協議会生活支援課
第2回 2月14日 新潟市 (参加者38名)	説明1「生活福祉資金貸付事業をめぐる動向」 ・貸付状況及び償還状況、生活福祉資金貸付事業の課題、市町村社協貸付事務費 説明2「生活福祉資金貸付事業に係る業務内容」 ・教育支援資金等の貸付後の対応 説明3「生活福祉資金貸付事業に係る業務内容」 ・債権管理（滞納世帯への支援、所在不明先の管理） 演習1「生活福祉資金貸付と多機関連携による支援」 ・過去の事例から借入相談時から貸付後の多機関での支援について考える 新潟県社会福祉協議会生活支援課

## (4) 生活福祉資金相談等体制整備事業

### ① 生活福祉資金相談員の配置

生活福祉資金貸付制度の体制強化を図るため、生活福祉資金相談体制整備事業として県社協及び市町村社協の相談員に対し助成した。

- ▶ 配置社協：23カ所
- ▶ 配置人数：33名（県社協2名、新潟市区社協4名、その他市町村社協21社協27名）
- ▶ 財源：貸付原資の一部取崩

## ② 生活福祉資金活動費の交付

民生委員実費弁償費、市町村社会福祉協議会貸付事務費を交付した。

## (5) 生活福祉資金制度の周知等

### ① 生活福祉資金制度の周知

- ▶ 新潟県及び新潟県社会福祉協議会HPへの掲載
- ▶ 新潟県教育庁高等学校教育課作成の「奨学金ガイド」への掲載
- ▶ 労働局職業安定部職業対策課作成の「第二のセーフティネット支援ガイド」、「再就職のためのステップアップガイド」への掲載
- ▶ 新潟県多重債務者対策連絡会議作成の「多重債務者支援機関一覧」への掲載

### ② 関係機関・団体との連携協力

- ▶ 長岡市社会福祉協議会 長岡パーソナル・サポート・センター、長岡市社協合同勉強会に講師（2月2日、長岡市）
- ▶ 三条市福祉事務所 生活保護自主研修会（不動産担保型生活資金）の講師（1月10日三条市）

## ◎(6) 関東ブロック都県・指定都市社会福祉協議会生活福祉資金担当職員研究協議会の開催

本県が当番県として関東ブロック都県・指定都市社協の生活福祉資金担当職員を対象に、貸付制度の円滑な事業運営に資することを目的に開催した。

期日・場所等	内 容
9月7日～8日 湯沢町 参加者 14都県指定都市 27名	基調説明「生活福祉資金貸付事業と生活困窮者自立支援制度との連携について等」 全国社会福祉協議会 民生部副部長 伊藤 浩司 研究協議Ⅰ「全国共通課題協議」 (1) 自立相談支援機関との連携貸付について (2) 低所得高齢者への支援について 研究協議Ⅱ「各都県・指定都市社協からの協議課題協議・情報共有」

## 2 新潟県・新潟市ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

資格取得を目指し養成機関に在学するひとり親家庭の親を対象に、入学又は就職への準備資金の貸付けを行い、資格取得及び自立の促進を図った。

### ① 貸付決定実績

	新潟県		新潟市		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
入学準備金	10	4,790,000	8	4,000,000	18	8,790,000
看護師	6	3,000,000	7	3,500,000	13	6,500,000
准看護師	2	1,000,000	1	500,000	3	1,500,000
保育士	1	500,000	0	0	1	500,000
歯科衛生士	1	290,000	0	0	1	290,000
就職準備金	2	400,000	2	400,000	4	800,000
看護師	2	400,000	2	400,000	4	800,000
合 計	12	5,190,000	10	4,400,000	22	9,590,000

### 3 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金事業

児童養護施設退所者等を対象に、大学等の進学に伴う生活費や家賃、就職に伴う家賃、又は就職に必要な資格取得への自立支援資金の貸付けを行い、円滑な自立への支援を図った。

#### ① 貸付対象者別の貸付実績

	生活支援費		家賃支援費		資格取得支援費		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
進学者	3	1,800,000	1	378,000	—	—	4	2,178,000
就職者	—	—	4	1,512,000	—	—	4	1,512,000
資格取得希望者	—	—	—	—	0	0	0	0
合 計	3	1,800,000	5	1,890,000	0	0	8	3,690,000

※貸付実人員は7名

#### ② 出身施設等別の貸付実績

	生活支援費		家賃支援費		資格取得支援費		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
児童養護施設	2	1,200,000	4	1,512,000	0	0	6	2,712,000
児童自立支援施設	0	0	0	0	0	0	0	0
自立援助ホーム	0	0	0	0	0	0	0	0
里親	0	0	0	0	0	0	0	0
ファミリーホーム	1	600,000	1	378,000	0	0	2	978,000
合 計	3	1,800,000	5	1,890,000	0	0	8	3,690,000

※貸付実人員は7名

### 4 生活困窮者の自立支援と地域づくりの推進〈活動指針〉

#### (1) 生活困窮者の諸課題解決に向けた支援（再掲）

##### ① 生活困窮者支援に関わる情報交換会の開催

期日・場所等	内 容
3月9日 新潟市 (参加者16名)	報告「生活困窮者自立支援制度の見直しと今後の展開について」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課 主任 寺口 祐司 説明「新たな住宅セーフティネット制度等について」 新潟県土木部都市局都市政策課広域都市政策班 政策企画員 平松 和浩 新潟県居住支援協議会 事務局 小嶋 和浩 話題提供「一時生活支援事業について」 新潟市パーソナル・サポート・センター 主任相談支援員 蛭原 勝 情報交換「我がまちの居住確保に向けた課題とその解決に向けた道筋を 考える」

## ② 生活困窮者支援等をテーマとしたフォーラムの開催

期日・場所等	内 容
12月21日 新潟市 (参加者54名)	講演「生活困窮者世帯等の子どもへの学習支援 ～貧困の連鎖と社会的排除から子どもたちを守るために必要なこと～」 池坊短期大学幼児保育学科 教授 宮武 正明 実践報告「県内における学習支援の取り組み」 テーマ及び実践報告者： テーマ①「新発田市における”高校生相談支援事業”の取り組み」 新発田市社会福祉課生活支援係 係長 星野 哲也 高校生相談支援員 馬場 行男 テーマ②「新潟市東区における”大学”と”行政”が連携した中学生に対する学習支援の取り組み」 新潟県立大学人間生活学部子ども学科 准教授 小澤 薫 テーマ③「三条市における NPO 法人による学習支援の取り組み」 NPO 法人地域たすけあいネットワーク 理事長 野島 理恵子 コーディネーター：池坊短期大学幼児保育学科 教授 宮武 正明

## 5 福島県避難者支援事業

- ▶ 事業内容 避難者の生活再建を支援するため「福島県復興支援員」を配置し、避難者宅への戸別訪問を行い、相談支援にあたった。(福島県からの受託事業)
- ▶ 契約期間 平成29年4月1日～平成29年9月30日
- ▶ 事業実績 訪問世帯数 60世帯、延べ訪問回数 63回

## 基本方針Ⅳ 利用者主体の福祉サービスづくり

### 推進目標 1 福祉サービス利用者の権利擁護の推進

#### 1 日常生活自立支援事業<活動指針>

##### (1) 事業概要

関係機関との連携の下、8基幹的社協のほか、新たに6社協（小千谷市、村上市、阿賀野市、出雲崎町、湯沢町、刈羽村）に専門員を配置し、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等による支援を行った。

##### ① 問い合わせ件数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
件数	78件	42件	15件	16件	151件
構成比	52%	28%	10%	10%	100%

##### ② 相談件数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
件数	3,203件	4,216件	4,200件	170件	11,789件
構成比	27%	36%	36%	1%	100%

##### ③ 契約締結人数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
人数	52人	50人	46人	148人
構成比	35%	34%	31%	100%

##### ④ 解約人数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
人数	63人	38人	24人	125人
構成比	50%	30%	20%	100%

※平成30年度から事業を実施する6市町村社協への利用者移管による3月末での解約分22人を含む

##### ⑤ 実利用者数

市町村社協	長岡市	上越市	三条市	新発田市	十日町市	佐渡市	魚沼市	
人数	137人	96人	45人	45人	62人	50人	45人	
構成比	25.2%	17.7%	8.3%	8.3%	11.4%	9.2%	8.3%	
市町村社協	南魚沼市	小千谷市	村上市	阿賀野市	出雲崎町	湯沢町	刈羽村	合計
人数	16人	12人	19人	5人	1人	7人	3人	543人
構成比	2.9%	2.2%	3.5%	0.9%	0.2%	1.3%	0.6%	100%

※平成30年度から事業を実施する6市町村社協への利用者移管による実利用者数を含む

#### (2) 全市町村社協実施方式への移行に向けた取組み

##### ① 事業実施意向確認調査

平成30年度からの事業実施に向けた各市町村社協の意向確認を目的に調査を行った。

- ▶調査時期 7月
- ▶対象 事業実施社協14市町村及び新潟市社協を除く15市町村社協
- ▶調査結果 平成30年度からの事業実施を希望：6市町村社協

(糸魚川市社協、胎内市社協、聖籠町社協、阿賀町社協、関川村社協、粟島浦村社協)

平成31年度からの事業実施を希望：1市社協（柏崎市社協）

## ② 市町村社協移行推進会議

平成30年度又は31年度からの事業実施を希望する7市町村社協及びその担当基幹的社協間において、具体的な移行に向けた調整、準備を行うことを目的に開催した。

期日・場所	協 議 事 項
9月8日・上越市	・県内の移行状況について
9月21日・新発田市	・移行に係る業務について
10月19日・長岡市	・委託費の配分について
1月22日・村上市	・専門員業務の引継ぎ、利用者の移管等について

## ③ 管内市町村社協への説明、課題等の把握

事業実施意向確認調査により平成30年度からの事業実施を希望しなかった市町村社協に対する移行の目的や趣旨の説明及び、各社協の実情や課題などの把握を目的に個別訪問を行った。

期日・場所	協 議 事 項
8月28日・弥彦村	・事業の実施状況について
8月31日・加茂市	・移行に係る業務、委託費の配分等について
9月4日・田上町	・各社協の実情や課題等の共有について
3月8日・加茂市	・意見交換、質疑応答
3月15日・見附市	
3月23日・弥彦村	
3月29日・五泉市	
3月29日・田上町	

## (3) 契約締結審査会

対象者の契約締結能力等について疑義がある場合の審査、及び契約締結又は継続上の留意点や契約しない場合・解約等に際しての適切な対応方法について、助言を得ることを目的に開催した。

期日・場所	審 査 内 容
第1回 7月4日・新潟市	・判断能力に疑義のある者との契約について ・未成年者との契約について (報告) ・事業の推進体制について ・事業の実施状況について ・新潟県日常生活自立支援事業契約締結審査会設置要領の一部改正について
第2回 2月7日・新潟市	・判断能力に疑義のある者との契約について ・未成年者との契約について

#### (4) 事業実施社協及び専門員との連携、支援

##### ① 巡回訪問

事業実施社協における本事業の適正な実施を図るため、巡回訪問を実施し、課題等について意見交換を行った。

期日・場所	内 容
10月26日・佐渡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営適正化委員会「事業実施状況調査」での助言、勧告に対するその後の確認</li> <li>・「日常的金銭管理サービス」及び「書類等預かりサービス」実施・管理状況の確認</li> <li>・個別の懸案事項についての指導、確認等</li> <li>・事業実施社協からの要望について</li> <li>・全市町村社協実施方式への移行についての意見交換</li> </ul>
11月2日・魚沼市	
11月9日・湯沢町	
11月9日・南魚沼市	
11月20日・小千谷市	
11月20日・十日町市	
11月28日・刈羽村	
11月28日・出雲崎町	
12月1日・村上市	
12月1日・三条市	
12月7日・長岡市	
12月8日・阿賀野市	
12月8日・新発田市	
12月14日・上越市	

##### ② 専門員会議

専門員を対象に、対応困難ケース等に対する適切な支援方策及び業務改善による事務の効率化について共通認識を持つとともに、資質向上を目的に開催した。

なお、第2回は県内全ての市町村社協事業担当者、第3回については平成30年度から事業を実施する市町村社協事業担当者も対象とし、資質向上を目的に開催した。

期日・場所等	協 議 事 項
第1回 4月28日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営適正化委員会による「事業実施状況調査」時の助言への対応について</li> <li>・生活支援員の雇用状況について</li> <li>・年金受給資格期間短縮に伴う全社協からの協力依頼への対応について</li> <li>・基幹的社協から県社協への問い合わせ、回答内容の共有について（報告）</li> <li>・平成29年度の委託費について</li> <li>・本事業における各種要綱、要領の一部改正について</li> <li>・関係資料集（第5版）及び専門員業務マニュアル（第2版）について</li> </ul>
第2回 10月20日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「専門員に求められる記録の取り方」 新潟県介護支援専門員協会 副会長 田中 保雄</li> <li>・ケース検討（スーパーバイザー：同上）</li> </ul>
第3回 2月7日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営適正化委員会からの助言等に基づく各社協対応例の共有について</li> <li>・現金保管の禁止について</li> <li>・生活支援員への利用者情報の提供及びその管理について</li> <li>・新潟県日常生活自立支援事業生活支援員委嘱要領の廃止について</li> <li>・事業の適正実施について</li> <li>・記録の書き方について （運営適正化委員会からの説明）</li> <li>・平成30年度実施状況調査について</li> </ul>

### ◎③ 新任専門員研修会

新任専門員を対象に、事業の理解及び専門員業務の習熟を図ることを目的に開催した。

期日・場所等	説 明 事 項
第1回 4月28日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の概要について</li> <li>・月次集計、報告について</li> <li>・本事業と成年後見制度について</li> <li>・意見交換、質疑応答</li> </ul>

### (5) 生活支援員の資質向上、支援

#### ① 生活支援員研修会

生活支援員を対象に、支援活動に必要な知識や援助技術の習得と資質の向上を目的として開催した。

期日・場所（参加者）	内容（説明者、講師等）
10月26日・佐渡市（33名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「精神障害者の理解と支援」</li> </ul> 新潟県精神保健福祉士協会 副会長 那須野 雅 新潟県精神保健福祉士協会 理事 五十嵐 礼
11月2日・魚沼市（58名）	
12月7日・長岡市（47名）	
12月14日・上越市（41名）	
3月12日・新潟市（49名）	

### (6) 関係機関との連携、啓発活動の実施

#### ① 関係機関連絡会議

平成30年度から事業を実施する市町村社協管内の関係機関実務者を対象に、事業理解の促進と協力体制の確立、情報交換を目的に開催した。

期日・場所	協 議 事 項
2月13日・胎内市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の概要について</li> <li>・事業の実施状況について</li> <li>・事業の対象者について</li> <li>・出席者からの協議、確認事項等について</li> </ul>
2月19日・糸魚川市	
2月21日・聖籠町	
2月23日・阿賀町	
3月14日・関川村	

## 2 成年後見制度普及促進事業＜活動指針＞

### (1) 成年後見制度担当者研修会の開催

期日・場所等	内 容
6月15日 新潟市 (参加者128名)	説 明 「成年後見制度及び県内における概況について」 新潟県社会福祉協議会企画広報課 主事 清川 祐介 講 義Ⅰ 「成年後見制度利用促進基本計画について」 新潟大学法学部 教授 上山 泰 講 義Ⅱ 「成年後見制度利用促進基本計画の策定等について」 内閣府成年後見制度利用促進室 参事官 須田 俊孝

## (2) 成年後見制度市町村長申立推進研修会(基礎編)の開催

期日・場所等	内 容
6月15日 新潟市 (参加者107名)	講 義Ⅰ「成年後見制度の概要」 公益社団法人新潟県社会福祉士会 権利擁護センターばあとなあ新潟 運営委員 竹田 一光 講 義Ⅱ「市町村長申立の意義」 新潟大学法学部 教授 上山 泰 実践報告「市町村長申立と行政職員の役割」 報告者 阿賀町健康福祉課 阿賀町地域包括支援センター 飯岡 裕子 助言者 新潟大学法学部 教授 上山 泰

## (3) 成年後見制度市町村長申立推進研修会(応用編)の開催

期日・場所等	内 容
9月19日 三条市 (参加者45名)	話題提供「県内における成年後見制度の概況」 新潟県社会福祉協議会企画広報課 主事 清川 祐介 講 義「成年後見制度における申立実務を学ぶ」 金子法律事務所 弁護士 金子 直樹 グループワーク「市町村長申立ての流れと実践」 事例提供者 刈羽村福祉保健課 主任社会福祉士 藏部 寛威 助言者 金子法律事務所 弁護士 金子 直樹

## (4) 成年後見セミナーの開催

### ① 成年後見セミナーin南魚沼

[主催：新潟県社会福祉協議会、南魚沼市社会福祉協議会、南魚沼市]

期日・場所等	内 容
11月30日 南魚沼市 (参加者95名)	基調講演「成年後見制度ってどんな制度？」 司法書士小林克行法務事務所 司法書士 小林 克行 報 告「南魚沼市の現状と今後について」 南魚沼市地域包括支援センター 社会福祉士 山村 典子 実践報告「権利擁護への取組と成年後見制度の活用について」 報告者 障害者相談支援センターみなみうおぬま 相談員 南雲 百合子 すうぷ社会福祉士事務所 代 表 高橋 愛 柏崎市社会福祉協議会地域福祉課 課長代理 大塚 真光子 進行 南魚沼市社会福祉協議会生活支援係 係長 青木 知明 アドバイザー 司法書士小林克行法務事務所 司法書士 小林 克行

## ② 聞いて納得！備えて安心！知っておきたい成年後見制度

[主催：新潟県社会福祉協議会、三条市社会福祉協議会、三条市]

期日・場所等	内 容
12月9日 三条市 (参加者135名)	講 演「成年後見制度ってどんな制度？」 中澤泰二郎法律事務所 弁護士 中澤 泰二郎 報 告「成年後見制度における三条支部の現状」 新潟家庭裁判所三条支部 主任書記官 草間 学 シンポジウム「成年後見制度の活用について考えよう！」 パネリスト 三条市地域包括支援センター東 社会福祉士 平出 明彦 相談支援センターハート 相談支援専門員 阿部 勝良 三条市社会福祉協議会 日常生活自立支援事業 専門員 吉塚 都子 コーディネーター 中澤泰二郎法律事務所 弁護士 中澤 泰二郎

## ③ やさしく解説！成年後見セミナーinながおか

[主催：新潟県社会福祉協議会、長岡市社会福祉協議会、共催：長岡市]

期日・場所等	内 容
3月9日 長岡市 (参加者95名)	寸劇・解説「見て・聞いて・納得！寸劇で学ぶ成年後見制度」 演者：日常生活自立支援事業生活支援員 解説：金子法律事務所 弁護士 金子 直樹 報 告Ⅰ「成年後見制度における長岡市の現状と取組について」 長岡市長寿はつらつ課高齢者基幹包括支援センター 主査 小林 裕 報 告Ⅱ「長岡市社会福祉協議会の取組について」 長岡市社会福祉協議会権利擁護支援課 課長 大川 久美子

## (5) 成年後見制度推進連絡会議の開催

期日・場所等	内 容
新発田会場 10月30日 (参加者29名)	(1)出席者団体・機関 ・市町村行政（高齢及び障害福祉担当課） ・市町村社会福祉協議会
上越会場 11月30日 (参加者17名)	・新潟家庭裁判所 ・新潟県弁護士会 ・公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート新潟県支部
三条会場 11月24日 (参加者24名)	・公益社団法人新潟県社会福祉士会 ・新潟県 ・新潟県社会福祉協議会
長岡会場 12月5日 (参加者30名)	(2)内容 ①新潟家庭裁判所・県社協・県からの説明・報告 ＜説明・報告団体＞
新潟会場 12月15日 (参加者26名)	・新潟家庭裁判所 ・新潟県社会福祉協議会 ・新潟県
魚沼会場 12月19日 (参加者25名)	②意見交換 テーマⅠ「市町村における市町村長申立の現状と取組について」 テーマⅡ「事前に提出いただいた事項に基づく意見交換」

## (6) 成年後見制度法人後見推進研修会の開催

期日・場所等	内 容
2月20日 新潟市 (参加者70名)	基調講演「成年後見制度の必要性と法人後見に取り組む意義」 新潟大学法学部 教授 上山 泰 実践報告「社協等における法人後見の取り組みについて」 話題提供者 新潟県社会福祉協議会企画広報課 主事 清川 祐介 報告者 魚沼市社会福祉協議会地域福祉課生活支援係 主任 渡辺 順子 NPO 法人 ふくし後見ネット 副代表 小林 克太郎 コーディネーター 新潟大学法学部 教授 上山 泰

## (7) 法人後見専門員スキルアップ研修会の開催

期日・場所等	内 容
2月27, 28日 新潟市 (参加者延べ 139名)	講 義 1 「成年後見事件の概況等について」 新潟家庭裁判所 家事訟廷管理官 哥 安祐 講 義 2 「成年後見制度における行政の役割」 新潟県福祉保健部障害福祉課自立支援係 係長 馬場 菜緒 講 義 3 「成年後見活動における判断能力のとらえ方」 新潟臨港病院 脳神経外科 部長 鷺山 和雄 講 義 4 「制度利用対象者の身上監護の実務」 公益社団法人新潟県社会福祉士会 権利擁護センターぱあとなあ新潟 運営委員 片岡 敏明 講 義 5 「後見活動に必要な法律知識と財産管理の実務」 新潟県弁護士会 弁護士 佐藤 克哉 グループワーク「後見活動の実際」 新潟県弁護士会 弁護士 佐藤 克哉

## (8) 法人後見実施社協等における意見交換会

期日・場所等	内 容
8月2日 新潟市 (参加者28名)	報告 ①平成29年度成年後見制度関連事業について ②平成29年度成年後見制度に関する実態把握調査について 意見交換「事前に提出いただいた事項について意見交換」

## (9) 成年後見制度市町村プロジェクトアドバイザー派遣事業の実施

県内で開催されるプロジェクト会議・検討会等にアドバイザー等として本会職員を派遣

### ① 各種委員会・会議等への参画

- ▶ 新潟県自立支援協議会権利擁護部会：1回（1月15日）
- ▶ 村上市成年後見制度利用支援体制検討会：2回（7月13日、12月21日）
- ▶ 燕市社会福祉協議会福祉後見・権利擁護センター運営委員会  
：4回（6月29日、9月28日、12月15日、3月22日）
- ▶ 刈羽村社会福祉協議会法人後見運営委員会：1回（3月5日）
- ▶ 長岡市社会福祉協議会成年後見支援センター運営協議会設置検討会：1回（5月11日）
- ▶ 長岡市社会福祉協議会成年後見事業運営委員会：1回（11月21日）

- ▶ 成年後見制度利用促進基本計画策定に向けた意見交換会：2回（10月18日、1月30日）
- ▶ 家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会：1回（11月16日）

## ② 研修会・セミナーへの講師派遣

- ▶ 長岡市社会福祉協議会主催「権利擁護に関する職員研修」：7月12日
- ▶ 柏崎市社会福祉協議会主催「平成29年度市民後見人養成講座」：8月23日
- ▶ 佐渡市社会福祉協議会主催「平成29年度成年後見制度法人後見推進セミナー」：8月25日
- ▶ 阿賀野市主催「成年後見制度福祉専門職向け研修会」11月21日

## (10) 成年後見制度普及啓発パンフレットの作成

- ▶ 平成30年2月 5,000部

## (11) 成年後見制度に関する実態把握調査の実施

目 的	新潟県内における成年後見制度の取り組み状況の把握
調査内容	ア) 新潟県における成年後見事件に関する実態把握調査 ▶対象、回答率：新潟家庭裁判所（回答率100%） イ) 成年後見制度利用支援事業等に関する実態把握調査 ▶対象、回答率：市町村行政（回答率100%） ウ) 社協における法人後見事業等に関する実態把握調査 ▶対象、回答率：市町村社会福祉協議会（回答率100%） ◎エ) 社会福祉法人における法人後見事業等に関する実態把握調査 ▶対象、回答率：社協を除く社会福祉法人（407ヵ所）（回答率68.5%）
調査期間	5月～6月（一部項目で平成30年1月まで）
調査結果	・関係機関（市町村・市町村社協・専門職団体等）へ配布 ・本会ホームページに掲載（ <a href="http://www.fukushiniigata.or.jp/reports/">http://www.fukushiniigata.or.jp/reports/</a> ）

## 推進目標2 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実

### 1 福祉サービス運営適正化委員会事業

日常生活自立支援事業の適正な運営の確保と福祉サービスに関する苦情の適切な解決を図るため「新潟県福祉サービス運営適正化委員会」業務を実施した。

#### (1) 新潟県福祉サービス運営適正化委員会の運営

##### ① 新潟県福祉サービス運営適正化委員会の開催

期日・場所	協 議 事 項
第1回 5月25日 新潟市	・日常生活自立支援事業平成28年度事業実施状況について ・新潟市社会福祉協議会の事業実施状況 ・新潟県社会福祉協議会の事業実施状況 ・新潟県福祉サービス運営適正化委員会平成28年度事業報告について ・「社会福祉事業の経営者による福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針について」の一部改正について ・「運営適正化委員会における福祉サービスに関する苦情解決事業について」の一部改正について

第2回 3月8日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟市社会福祉協議会の日常生活自立支援事業平成30年度事業実施計画について</li> <li>新潟県社会福祉協議会の日常生活自立支援事業平成30年度事業実施計画について</li> <li>新潟県福祉サービス運営適正化委員会平成29年度事業実施状況及び平成30年度事業実施計画について</li> </ul>
--------------------	---

## ② 利用援助事業調査小委員会の開催

期日・場所	協 議 事 項
第1回 5月25日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活自立支援事業平成28年度実施状況調査結果に対する取組み状況について</li> <li>日常生活自立支援事業平成29年度実施状況調査の方針等について</li> </ul>
第2回 9月14日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活自立支援事業平成29年度実施状況調査(書面調査結果・訪問調査実施方法)について</li> </ul>
第3回 11月16日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活自立支援事業平成29年度実施状況調査(訪問調査)の結果について</li> </ul>
第4回 3月8日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活自立支援事業平成30年度実施状況調査の進め方について</li> </ul>

## ③ 苦情解決小委員会の開催

期日・場所	協 議 事 項
第1回 5月25日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情申出案件の対応について 15件</li> <li>苦情解決体制整備状況調査平成29年度スケジュールについて</li> </ul>
第2回 7月27日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情申出案件の対応について 6件</li> <li>苦情解決体制整備状況調査平成29年度結果について</li> </ul>
第3回 9月14日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情申出案件の対応について 7件</li> </ul>
第4回 11月16日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情申出案件の対応について 4件</li> </ul>
第5回 1月25日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情申出案件の対応について 10件</li> </ul>
第6回 3月8日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情申出案件の対応について 6件</li> <li>苦情解決体制整備状況調査平成30年度の進め方について</li> </ul>

## (2) 福祉サービスに関する苦情等の受付・対応状況

### ① 受付実績

- ▶ 件数：39件（その他業務上の相談・照会等 108件の対応）

### ② 事業分野毎の苦情受付・対応状況

#### 【申出人別受付件数】

区 分	高 齢	障 害	児 童	その他	合 計
利用者	2	14	0	2	18
家族	4	6	7	0	17
代理人	0	0	0	0	0
職員	1	1	2	0	4
その他	0	0	0	0	0
合 計	7	21	9	2	39

【内容別受付件数】

区 分	高 齢	障 害	児 童	その他	合 計
職員の接遇	2	10	4	0	16
サービスの質や量	1	4	1	0	6
利用料	2	0	0	1	3
説明・情報提供	0	0	1	0	1
被害・損害	1	2	0	0	3
権利侵害	1	0	1	0	2
その他	0	5	2	1	8
合 計	7	21	9	2	39

【対応結果件数】

区 分	高 齢	障 害	児 童	その他	合 計
相談・助言	5	18	7	2	32
紹介・伝達	0	1	1	0	2
あっせん	0	0	0	0	0
通知	1	0	1	0	2
その他	1	2	0	0	3
継続中	0	0	0	0	0
意見・要望	0	0	0	0	0
合 計	7	21	9	2	39

(3) 福祉サービスに関する苦情解決研修会の開催

① 福祉サービスに関する苦情解決担当者研修会の開催

期日・場所等	内 容
6月20日 長岡市 (参加者204名)	事業説明「県内における苦情相談の状況等」 新潟県福祉サービス運営適正化委員会事務局 講義・演習「苦情受付担当者のための苦情解決能力向上研修」 株式会社ツクイスタッフ 教育研修担当 山郷 政史

② 福祉サービスに関する苦情解決責任者研修会の開催

期日・場所等	内 容
10月24・25日 新潟市 (参加者216名)	事業説明「県内における苦情相談の状況等」 新潟県福祉サービス運営適正化委員会事務局 講義・演習「苦情解決責任者のためのクレームを生まない職場づくり研修」 株式会社ツクイスタッフ 教育研修担当 山郷 政史

(4) 苦情解決の仕組みの普及・啓発

① 福祉サービス苦情解決体制整備状況調査の実施

社会福祉施設、事業者における苦情解決体制の整備と苦情の円滑な解決の推進を図ることを目的に、苦情解決体制の整備状況及び対応状況等について県内15ヵ所の施設を訪問し、調査を実施した。

- ▶ 対象 老人福祉施設5ヵ所、障害者福祉施設5ヵ所、児童福祉施設5ヵ所
- ▶ 内容 苦情解決の仕組み理解状況、苦情解決体制の整備状況及び第三者委員の設置状況など

## ② 広報紙等への掲載

- ▶ 新潟県社協機関誌「福祉にいがた」に事業実施状況等に関する記事を掲載
- ▶ 行政等やマスコミの広報紙に福祉サービス運営委員会案内の広報依頼・掲載
- ▶ 福祉事業者への福祉サービス苦情相談ポスターの配布
- ▶ 新潟県社協ホームページにおいて苦情解決研修等を周知

## ③ 苦情解決ハンドブックの活用

事業所段階で必要な、苦情解決の取り組みや仕組みなどを掲載し、苦情解決制度の普及啓発を図った。  
(新潟県社協ホームページにて配信)

## (5) 日常生活自立支援事業実施状況調査の実施

日常生活自立支援事業において取り扱う利用者の預かり物件の管理状況や日常的金銭管理の状況等を確認するため、新潟市社会福祉協議会及び基幹的社会福祉協議会への訪問調査を実施した。

## 基本方針Ⅴ 福祉を支える人づくり

### 推進目標 1 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援

#### 1 福祉人材センター運営事業

##### (1) 福祉人材センター運営委員会の開催

期日・場所	協議事項
1月16日 新潟市	・平成29年度福祉人材センター事業実施状況について ・平成30年度福祉人材センター事業計画について

##### (2) 福祉人材無料職業紹介所

福祉施設等への就職を希望する求職登録者とその雇用条件に見合う求人登録福祉施設等に紹介・斡旋する就労支援を行うとともに、福祉・介護人材の確保に取り組んだ。

##### ① 求人、求職の登録・斡旋等の実績

区分	取扱件数	内容
登録	求人 5,067名 求職 869名	【施設別求人数】 高齢者施設4199、児童施設559、障害者施設217、社協71、その他21 【職種別求人数】 介護職2831、看護職563、相談・支援・指導員466、保育士473 ホームヘルパー315、介護支援専門員102、セラピスト87、事務職40、その他190 【雇用形態別求人数】 正規2997、常勤的非常勤1049、非常勤・パート1021
紹介・採用 (無料職業紹介)	紹介・応募 194名 採用 167名	【職種別採用者数】 介護職員87、相談・支援員49、事務職員11、保育士8、総合職5、ホームヘルパー2、看護職1、介護支援専門員1、調理員1、栄養士1、用務員1 【雇用形態別採用者数】 正規107、常勤的非常勤35、非常勤・パート25
インターネットによる求人登録 職業紹介	アクセス 12,048件	・パソコン11,860件、モバイル188件
求人求職相談	相談 11,110件	[相談内容] ・求人4,903件、求職6,207件 [相談方法] ・来所4,147件、電話2,795件、FAX195件、郵便3,035件 職場説明会938件
出張相談 (求人求職相談の再掲)	相談者38名	長岡支所及び上越出張相談での事前予約相談

### (3) 啓発・広報事業

#### ① 「介護の日」県民のつどいの開催（福祉・介護・健康フェア2017と同時開催）

「介護の日」を契機に広く県民に介護についての理解と認識を深めてもらうことを目的に、新潟県、新潟県社会福祉協議会、新潟県介護福祉士会及び日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック新潟県部会の主催で開催した。

期日・場所	内 容
11月19日 新潟市 (来場者 1,113人) *福祉・介護・健康フェア全体 17,700人	◇介護の日ポスターコンテスト（介護福祉士養成施設協会:789人） ◇認知症サポーター養成講座（県介護福祉士会：104人） ◇フットケア講座（県介護福祉士会：71人） ◇栄養・食事相談コーナー（県栄養士会：50人） ◇看護・健康相談コーナー（県看護協会：13人） ◇高齢者お悩み相談コーナー（新潟市社会福祉協議会：9人） ◇就職相談コーナー（福祉人材センター：77人）

#### ② 「福祉・介護・健康フェア in 長岡」への参加

長岡市で開催したフェアに人材センターの相談コーナーを設置し、相談を実施した。  
(新潟日报社、新潟県社会福祉協議会・長岡市社会福祉協議会主催)

- ・平成29年11月5日 長岡市 就職相談コーナー 来場者50人  
(福祉・介護・健康フェア in 長岡：来場者4,679人)

#### ③ SNSを活用した広報活動

- ・ブログ 29年4月から開始。  
就職フェア等のイベント周知を目的に、月2回程度更新。
- ・フェイスブック 28年12月から開始。  
主にブログ記事の周知を目的に、月2回程度更新。
- ・インターネット広告 29年度から開始。  
人材センターの周知、就職フェア等のイベント告知を目的に活用。  
通年ではなく、3～6月、10～11月、1月に広告。

#### ④ パンフレット・チラシ等の作成

「ふくしのお仕事 Q & A がいど・ぶっく」パンフレット	3,000部
「アドバイザーによる専門相談」チラシ	9,000部
「新潟県福祉人材センター」リーフレット	4,000部
「福祉のお仕事求職登録の手引き」パンフレット	3,000部
「インターネット求人登録ガイド」パンフレット	5,000部
「新潟県福祉人材センター長岡」チラシ	3,000部
「新潟県福祉人材センター長岡」ポスター	30部
「新潟県福祉人材センター上越」チラシ	3,000部
「新潟県福祉人材センター上越」ポスター	30部
「離職時の届出制度スタート」チラシ	3,000部
「平成30年度福祉のしごと就職フェア等年間計画（事業所向）」チラシ	8,000部
「平成30年度福祉のしごと就職フェア等年間計画（求職者向）」チラシ	10,000部
「ふくしのお仕事はんど・ぶっく」パンフレット	3,000部

#### (4) 求人・求職開拓の実施

##### ① 求人事業所開拓

求人登録者の増加を主目的に、福祉人材センター利用の周知・促進（登録・就職フェア）、事業所の現状の把握、福利厚生センター等の加入促進のため、法人・事業所を訪問した。

月別実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問数	11	11	19	3	5	13	1	7	1	3	0	1	75

##### ② 求職者開拓

求職登録者の増加を図るため、ハローワーク、介護職員初任者（実務者）研修実施機関、高校・大学・短大・専門学校等を訪問した。

（具体的な訪問目的）

- ▶ 福祉の仕事の理解や魅力の発信
- ▶ 福祉人材センター利用の周知・促進（登録・就職フェア・介護職場体験）
- ▶ 福祉の仕事内容、就職状況、福祉の資格取得方法等の説明

月別実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問数	19	11	22	22	19	29	12	34	6	69	31	3	277

##### ③ アドバイザーによる専門相談の実施

本会が委嘱した3人の「働きやすい職場づくり専門相談員（アドバイザー）」による相談を実施した。

【専門相談員（アドバイザー）】

- ▶ 弁護士 村上 裕
- ▶ 社会保険労務士・中小企業診断士 金子 勉
- ▶ 公認会計士・税理士 逸見 和宏

【相談内容・件数】

- ▶ 労務関係 4件
- ▶ 就業規則の見直し 4件
- ▶ 利用者との契約内容 1件
- ▶ 施設利用料滞納の対応 2件
- 計 11件

##### ④ 介護人材の緊急的な確保対策事業

###### ア 県内7カ所のハローワークでの定期的な福祉職場相談会

ハローワーク名	月回数	開催日	相談時間	実施回数	相談者数
長岡	1回	第3金曜日	10:00～11:30	12回	126名
上越	1回	第2水曜日	13:30～15:30	12回	160名
三条	1回	第3火曜日	13:30～15:00	8回	15名
柏崎	1回	第4火曜日	13:30～15:00	5回	7名
新発田	隔月	第1金曜日	13:30～15:00	3回	9名
巻	1回	第4金曜日	10:00～12:00	9回	31名
新津	隔週	第3水曜日	13:30～15:00	2回	2名
合 計				51回	350名

### イ ハローワーク主催の福祉職場相談会(介護就職デイ)

ハローワーク名	期 日	会 場	相談者数
三条	11月7日	ハローワーク三条	5名
柏崎	11月10日	ハローワーク柏崎	6名
新潟	11月11日	ハローワーク新潟	4名
新発田	11月13日	ハローワーク新発田	16名
上 越	11月20日	上越テクノスクール	2名
合 計			33名

## (5) 就職フェア等の開催

### ① 福祉の就職総合フェア2017の開催

日・場所等	内 容
6月10日 新潟市 (来場者 155人) (参加法人56)	① 就活支援セミナーの開催 (来場者数42人) 講師 更生慈仁会 特別養護老人ホーム施設長 高橋英樹 様 ② 求人法人との集団・個別相談 ③ 福祉の就職状況、就職活動方法、資格取得方法相談 ④ 福祉人材確保機関との相談 (ハローワーク新潟、県ナースセンター、 介護労働安定センター新潟支部、福島県福祉人材センター) ⑤ 参加法人資料の提供

### ② 福祉のしごとミニ面談会の開催

期 日・場 所	参加者数	参加法人数	内 容
5月14日	新潟市	81人	16
7月15日	長岡市	23人	25
7月29日	上越市	14人	10
9月24日	三条市	26人	15
9月30日	長岡市	14人	10
10月21日	新潟市	41人	24
11月25日	新発田市	25人	8
2月3日	新潟市	55人	20
合 計	8回	279人	128

### ③ 人材確保のための法人向けセミナーの開催

法人の人材育成・採用担当者を対象に、人材育成と定着を目的に開催した。

期日・場所	内 容
5月22日 新潟市 (参加者69人)	<b>【講義・講演】</b> 「人材育成・定着セミナー」 ～実践！職員を幸せにする職場づくり～ グローカルマーケティング株式会社 代表取締役 今井進太郎 「就職フェア等の年間計画等の説明」 福祉人材センター職員 「平成29年度新潟県介護人材確保推進事業概要について」 新潟県福祉保健課職員

## (6) 福祉のしごと就活さぼーとセミナーの開催

福祉職場等に就職希望する学生や福祉の仕事に関心のある学生を対象に、これからの就職活動に役立つセミナーを開催した。

期日・場所	内 容
2月24日 新潟市 (参加者31人)	<b>【説明】</b> 「就職活動の進め方」 福祉人材センター職員 <b>【講座・演習】</b> 「スーツを着こなす身だしなみ術～スーツの正しい着こなし方～」 株式会社AOKI 女池インター店 副店長 水戸達也 <b>【講座・演習】</b> 「就職活動に役立つメイク術～就活用のメイクを実践～」 ナリス化粧品 SAKURA 咲く 中村千夏 <b>【講座】</b> 「就職活動に役立つマナー講座」 MSアカデミー株式会社 平池麻衣

## ◎(7) FUKUSHI JOB FAIR 2018 (主催：一般社団法人URBANFLOW)

福祉人材の確保を図るため、福祉分野へ就職を希望する2019年3月卒業予定・第二新卒者を対象とする催しに参加し、他団体の就職フェアを体験するとともに、福祉人材センターとして相談に応じた。

期日・場所	内 容
3月15日・16日 新潟市 (参加者100人) (参加法人23法人) *両日の計で参加者、参加法人とも重複がある。	①出展法人リレートーク ②会社説明会 ③トークイベント ④福祉人材センター就職相談 (相談者数16名)

## (8) 福祉職場体験事業

介護の職場の雰囲気やサービスの内容を直接知ってもらい、円滑に就職ができるように実施した。

(福祉職場体験)

体験者	体験者数	体験日数	体験延日数
就労希望者	28名	1～5日	42日
高校生	69名	1～5日	188日
合計	97名	—	230日

(介護施設見学)

	就労希望者		高校生		合計	
	回数	延べ参加者数	回数	延べ参加者数	回数	延べ参加者数
現地集合	10	34名	—	—	10	34名
バスツアー	3	18名	3	8名	6	26名
合計	13	52名	3	8名	16	60名

## (9) 長岡支所の運営

- ▶ 平成28年4月1日開設
- ▶ 場所：長岡市社会福祉センター内（平成28年11月1日に、長岡駅前に移転。）
- ▶ 相談日時：毎週月曜～木曜 10:00～15:00(事前予約制)

### 【相談実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談者数	6	4	5	1	1	3	4	3	1	2	1	0	31
求職登録者数	2	2	1	1	1	3	3	1	0	0	0	0	14
就職者数	1	2	0	1	3	0	1	0	0	2	1	1	12
相談日数	3	3	3	1	1	3	2	2	1	2	1	0	22

## ◎(10) 上越出張相談の実施

- ▶ 平成29年4月1日実施
- ▶ 場所：上越総合福祉センター内
- ▶ 相談日時：毎月第3水曜日 13:00～15:00
- ▶ 相談実績：相談者数7名 求職登録者数2名 就職者数1名

## ◎(11) 福祉人材にかかる関係機関・団体との連携

- ①「福祉人材確保推進協議会」（新潟労働局主催 1回7/13）
- ②「介護人材確保対策会議」（新潟県主催 2回8/7、11/15）  
「介護人材確保対策検討会議 就業促進部会及び資質向上・処遇改善部会」  
（新潟県主催 3回8/11、9/25、10/19）
- ③「新潟県地域ジョブカードセンター運営本部会議」（新潟労働局主催 2回6/30、未定）
- ④「新潟県介護労働懇談会」（介護労働安定センター新潟支部主催 2回7/13、11/21）
- ⑤「介護人材確保対策検討会」（長岡市主催 2回8/17、11/22）

## ◎(12) 離職介護福祉士届出事業周知の実施

福祉人材センターの離職者の登録システムが4月から稼働した。

離職者した介護福祉士等に対して、福祉人材センターに届出をすることによって、就職フェア・セミナーの開催や求人情報等を提供する旨の、さらには「離職介護人材再就職準備金」（20万円を無利子貸付、2年間介護業務従事で全額免除）を周知するチラシを3,000部作成し、介護事業所に送付した。

## 2 介護福祉士等修学資金貸付事業

福祉・介護分野への就労の促進を図ることを目的として、介護福祉士及び社会福祉士養成施設の入学者や離職した介護福祉士等有資格者の再就職にあたり修学資金等の貸付けを行った。

(1) 介護福祉士・社会福祉士修学資金

① 貸付決定実績

	介護福祉士		社会福祉士		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
修学資金	12	17,520,000	1	900,000	13	18,420,000
入学準備金	12	2,400,000	1	200,000	13	2,600,000
就職準備金	12	2,400,000	1	50,000	13	2,450,000
生活費加算	3	2,400,000	0	0	3	2,400,000
国家試験対策費	6	240,000	—	—	6	240,000
合 計	45(12)	24,960,000	3(1)	1,150,000	48(13)	26,110,000

※件数の（ ）内は実人員、国家試験対策費は介護福祉士のみ

② 貸付金交付実績

	介護福祉士		社会福祉士		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
修学資金	16	8,760,000	1	600,000	17	9,360,000
入学準備金	12	2,400,000	1	200,000	13	2,600,000
就職準備金	1	200,000	0	0	1	200,000
生活費加算	5	1,560,000	0	0	5	1,560,000
国家試験対策費	0	0	—	—	0	0
合 計	34(16)	12,920,000	2(1)	800,000	36(17)	13,720,000

※件数の（ ）内は実人員、平成26年度貸付決定者1名、平成28年度貸付決定者3名、平成29年度貸付決定者13名

◎(2) 介護福祉士実務者研修受講資金

① 貸付決定実績及び貸付金交付実績

	件数	金額(円)
貸付決定実績	59	10,040,000
貸付金交付実績	59	10,040,000

◎(3) 離職介護人材再就職準備金

① 貸付決定実績及び貸付金交付実績

	件数	金額(円)
貸付決定実績	1	200,000
貸付金交付実績	1	200,000

(4) 貸付金の返還及び免除の実績

	貸付金の返還		貸付金の免除	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
介護福祉士修学資金	34	11,296,625	107	159,066,667
社会福祉士修学資金	1	256,100	7	6,130,000
介護福祉士実務者研修受講資金	1	200,000	0	0
離職介護人材再就職準備金	0	0	0	0
合 計	36	11,752,725	114	165,196,667

### 3 社会福祉従事者福利厚生事業

#### (1) 県民間社会福祉職員退職積立基金事業

本会会員である民間社会福祉施設・団体職員の退職の際に、一時金等を支給する退職手当制度の運営にあたり、資産管理及び運営状況等の情報を開示し、適正な制度運営を行った。

##### ① 加入状況（平成30年3月31日現在）

- ▶ 加入施設・団体数：661施設・団体
- ▶ 加入職員数：22,539名

##### ② 給付状況（平成30年3月31日現在）

- ▶ 脱退一時金支給1,550名

##### ③ 運営委員会

期日・場所	内 容
第1回 7月28日 新潟市	・委員長、副委員長の選任について ・平成28年度収支決算及び運営実績 ・平成28年度運用実績と今後の運用方針について
第2回 2月13日 新潟市	・平成29年度運営状況及び補正予算(案) ・会計監査人の設置に伴う費用負担について ・平成30年度収支予算(案) ・平成29年度運用実績と今後の市場の見通しについて

#### (2) 社会福祉施設職員退職手当共済事業

独立行政法人福祉医療機構が取り扱う「社会福祉施設職員等退職手当共済制度」において、退職給付関係書類の厳正な受付事務を行い、適正な制度運営に努めた。

#### (3) 社会福祉事業従事者福利厚生事業（福利厚生センター）

民間社会福祉事業従事者の福利厚生事業を全国規模で実施する「福利厚生センター」の県事務局として、会員交流事業等の実施により福利厚生の充実に努めた。

また、新潟県内における福利厚生センター加入施設の担当者に向けて、事業に対するニーズを把握し、今後の事業運営の参考とするためにアンケート調査を行い、その結果を事業運営に反映するよう努めた。

- ▶ 加入法人数：50法人(156事業所)
- ▶ 加入職員数：4,071名

##### ① 福利厚生企画・情報会議

期日・場所	協 議 事 項
1月29日 新 潟 市	・平成29年度福利厚生センター事業実施状況について ・平成30年度福利厚生センター事業計画について

## ② 会員交流事業

期日・場所	内 容	参加人数
6月4日 新潟市	・森山直太朗15thアニバーサリーツアー「絶対、大丈夫」	38名
4月4日 新潟市	・市川海老蔵 古典への誘い	33名
4月30日 新潟市	・back number All Our Yesterdays Tour 2017 supported by uP!!!	100名
5月9日 新潟市	・ディズニー・ハワイアンコンサート2017 ～モアナと伝説の海 公開記念～	9名
7月16日 上越市	・それいけ！アンパンマンミュージカル 勇気の花に歌おう♪	32名
5月3日～7日 新潟市	・プラレール博 inNIIGATA ～ひろがる!新幹線×プラレールワールド!!～	95名
8月26日 新潟市	・音楽と髭達2017 -No border-	20名
9月18日 新潟市	・ミュージカル「ハローキティのドリームトラベラー」	31名
9月24日 新潟市	・米村でんじろうサイエンスショー in 新潟	39名
9月24日 長岡市	・フェニックス・マーチングフェスタ in アオーレ長岡 英国女王陛下の近衛軍楽隊	15名
8月3日 長岡市	・長岡まつり大花火大会観賞	46名
7月13日～3月31日 新発田市	・【酒造フェア2017】「御茶処いちしま」日本庭園ランチ	60名
7月13日～2月28日 長岡市	・【酒造フェア2017】 「あさひ山 蜚庵」ランチ&日本酒の酒造見学	30名
7月13日～2月28日 新潟市	・【酒造フェア2017】「佳肴 あさひ山」で大人ランチ	24名
7月13日～2月28日 新潟市	・【酒造フェア2017】日本酒 越乃寒梅 きた山	11名
7月13日～2月28日 新潟市	・【酒造フェア2017】越乃寒梅 Manjia	9名
7月13日～3月31日 新潟市	・【酒造フェア2017】岩室温泉「ゆもとや」日本庭園ランチ	54名
8月18日～8月19日 千葉県	・【第1回】ディズニーリゾートの旅	41名
9月23日～9月24日 千葉県	・【第2回】ディズニーリゾートの旅 ～東京ディズニーシーでパーク・ファン・パーティ～	39名
10月13日 新潟市	・flumpool 8th tour 2017 「Re:image」	1名
10月1日～2月28日 新潟県内	・うれしさいっぱいミールクーポン	891名
10月1日～2月28日 新潟県内	・ゆったり・のんびり 日帰り温泉でリフレッシュ	334名
11月9日 新潟市	・ディズニー・オン・クラシックまほうの夜の音楽会2017 Brillante ～輝きの未来へ	4名
11月22日～23日 新潟市	・宝塚歌劇月組全国ツアー 新潟公演	31名
11月27日 新潟市	・鼓童・打男 DADAN 2017	8名
11月21日 新潟市	・葉加瀬太郎コンサートツアー2017	33名
12月5日～6日 新潟市	・UVERworld TYCOON TOUR	9名
1月12日 新潟市	・ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団× 千住真理子×牛田智大 ニューイヤーコンサート	4名
7月1日～12月31日 新潟県内	・【第1回】映画鑑賞割引券（提携映画館）	2,307名
12月1日～5月31日 新潟市	・【第2回】映画鑑賞割引券（提携映画館）	830名
11月23日～3月4日 新潟市	・チームラボ★踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地	200名
2月10日～25日 阿賀野市	・越後花絵巻2018in サントピアワールド 冬桜	30名
3月21日～5月6日 新潟市	・古代アンデス文明展	84名

### ③ 会員交流事業（施設利用事業等）

メニュー	施設等名
入場料・利用料助成	サントピアワールド、朝日きれい館、アクア-レ長岡、ミオンなかさと、だいろの湯、ネイチャーリングホテル米本陣、ごまどう湯つ多里館、いい湯らてい、旬彩の庄 坂戸城、舞子リゾート（日帰り温泉・ディスクゴルフ・グラウンドゴルフ）フォレストアドベンチャー・湯沢中里、湯沢中里ファミリーショートコース

### ④ 地域開発メニュー（施設利用事業等）

メニュー	施設等名
利用料割引	ホテルグリーンプラザ上越、上越国際プレイランド、新樽ヶ橋温泉クアハウスたいない、ホテル太閤、舞子高原ホテル、NASPAニューオータニ、めんめん亭わたや
入館料割引	野天風呂湯元龍泉、桂の関温泉ゆ〜む、秋葉温泉花水、多宝温泉だいろの湯、メイワサンピア
リフト券等割引	ムイカスノーリゾート、奥只見丸山スキー場、NASPAスキーガーデン、舞子スノーリゾート、湯沢中里スノーリゾート、ニノックススノーパーク、上越国際スキー場、岩原スキー場
割引斡旋	白石薬品(株)家庭常備薬、丸大食品(株)お中元お歳暮商品、新茶屋酒店 地酒等特別販売
チケット先行予約	キョードー北陸、FOB企画、テレビ新潟、劇団四季

## 推進目標 2 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進

### 1 介護実習・普及センター運営事業

#### (1) 介護実習・普及センター運営委員会

期日・場所	協議事項
1月11日 新潟市	・平成29年度介護実習・普及センター事業実施状況について ・平成30年度介護実習・普及センター事業計画(案)について

#### (2) 県民介護知識・技術習得講座

##### ① 総合習得コース

期日・場所等	内容
6月コース 2.8.9日 15.19.23日 新潟市 (参加者29名)	講義「介護保険制度の仕組みとサービス」 特別養護老人ホームこうめの里 園長 宮崎 則男 講義「認知症の理解」 高齢者総合福祉相談センター福住 研究・研修センター長岡 センター長 遠藤 真一 グループホーム川崎東 管理者 多田 良
7月コース 4.14.19日 20.21.26日 長岡市 (参加者22名)	特別養護老人ホーム中之島 総括主任 佐藤みどり グループホーム新組 管理者 山本 里花 講義「高齢者・障がい者の理解」 新潟県在宅保健師の会「燈々会」会員 笠原 孝子、近 百合、渡辺 満里子、柴木 文恵 講義「在宅介護の基礎知識」 新潟県介護福祉士会会員 山田沙耶香

10月コース 4. 11. 12日 16. 20. 26日 新潟市 (参加者28名)	講義「地域におけるつながり」 新潟市地域包括支援センターにいつ日宝町 管理者 本間 良 体験「高齢者疑似体験と福祉用具」 あおやまメディカル株式会社 ユニゾンプラザ店・福祉用具専門相談員 実技「基本介護技術の習得」 新潟県介護福祉士会会員
12月コース 1. 5. 6日 8. 15. 19日 新潟市 (参加者22名)	佐藤 久枝、岩崎 朋子、近藤 トシコ、長谷川 美穂子 実技「家庭における緊急時の対応」 日本赤十字社救急法指導員 長島 和正、大倉 綾子、倉品 眞弓、宮崎 めぐみ

## ② ステップアップコース

期日・場所等	内 容
第1回 8月22. 23. 24日 長岡市 (参加者24名)	実技「基本介護技術の実際」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子、岩崎 朋子
第2回 9月19. 20. 25日 新潟市 (参加者20名)	
第3回 11月15. 16. 20日 新潟市 (参加者24名)	
第4回 1月24. 25. 29日 新潟市 (参加者26名)	

## ③ 介護体験コース

期日・場所等	内 容
第1回 6月29日 上越市 (参加者14名)	実技「負担の少ない寝返り介助の方法」 実技「家庭で活かす寝たまま衣類の着脱」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子
第2回 6月30日 上越市 (参加者16名)	実技「車イスへの安全な介助の方法」 実技「自立に向けた排泄介助」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子
第3回 8月6日 新潟市 (参加者16名)	講義「介護保険の基本のキ」 特別養護老人ホームこうめの里 園長 宮崎 則男 実技「負担の少ない寝返り介助の方法」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、近藤 トシコ

第4回 8月20日 新潟市 (参加者15名)	講義「認知症の理解」 高齢者総合福祉相談センター福住 研究・研修センター長岡 センター長 遠藤 真一 実技「自立に向けた排泄介助」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子
第5回 8月27日 新潟市 (参加者16名)	実技「車イスへの安全な介助の方法（全介助）」 実技「家庭で活かす寝たまま衣類の着脱」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子
第6回 2月18日 新潟市 (参加者22名)	実技「車イスへの安全な介助の方法（一部介助）」 実技「食事介助の方法」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子

### (3) 認知症ケアステップアップセミナー

期日・場所等	内 容
第1回 10月18.19日 新潟市 (参加者28名)	1日目 講義「パーソン・センタード・ケアとは？」 「本人視点による認知症の人へのアプローチ」 演習「本人視点による認知症の人へのアプローチ」
第2回 1月29.30日 長岡市 (参加者27名)	2日目 講義「ひもときシートってなに？ひもときシート活用ポイント」 個人ワーク「ひもときシート活用例」 講義「ひもときシート記入の仕方」 グループワーク「事例からひもといてみる」 演習 「組織（施設）として認知症ケアを効果的に推進するために」 高齢者総合福祉相談センター福住 研究・研修センター長岡 センター長 遠藤 真一 公益社団法人 認知症の人と家族の会 新潟県支部 副代表 等々力 努 (社)新潟県介護福祉士会 副会長 西本 円 クラレテクノ(株)ちゅ-りっぷ苑 副苑長 新野 直紀 ライフパートナーかくだ山合同会社 代表 岩崎 典子

### (4) 認知症ケアステップアップセミナーに関する専門企画会議

期日・場所	協 議 事 項
6月22日 新潟市	・平成29年度認知症ケアステップアップセミナーの実施について

### (5) 介護を中心とした高齢者のニーズにかかる情報提供

- ▶ 福祉用具の展示
- ▶ 福祉用具・住宅改修等の相談、助言及び高齢者疑似体験の実施
- ▶ 福祉用具に関する情報提供と普及促進

## 2 介護等体験事業(教育職員免許法の特例に伴う「介護等の体験」事業)

教育職員免許法の特例に基づき、小・中学校教諭の普通免許取得希望者に義務づけられている介護等体験の社会福祉施設への受入が適正かつ円滑に実施されるよう、斡旋、調整を行った。

▶ 受入調整実績：体験受入施設数239施設 体験者数628名

### 推進目標3 福祉従事者の養成と資質向上の推進

#### 1 社会福祉研修センター運営事業

##### (1) 社会福祉研修事業運営委員会

期日・場所	協 議 事 項
1月19日 新潟市	・平成29年度事業実施状況及び平成30年度事業計画(案)について

##### (2) 社会福祉行政職員研修(県受託研修)

###### ① 福祉行政新任職員研修

福祉行政に携わる新任職員を対象に、行政職員として必要な知識・技術の習得と役割の自覚、業務の適正処理を図ることを目的に実施した。

期日・場所等	内 容
5月17～18日 新潟市 (受講者50名)	講義「生活保護と生活困窮者自立支援制度について」 県福祉保健部福祉保健課 保護係 主任 高野 大輔 講義「高齢者の保健福祉施策」 県福祉保健部 高齢福祉保健課 副参事・高齢化対策係長 田村 一義 講義「児童の福祉施策」 県福祉保健部少子化対策課 副参事・保育支援係長 長谷部 徹也 県福祉保健部児童家庭課 副参事・家庭福祉係長 大原 圭 講義「社会福祉行政論」 新潟大学 歯学部口腔生命福祉学科教授 高橋 英樹 講義「障害者の福祉施策」 県福祉保健部障害福祉課 自立支援係長 馬場 奈緒 講義「地域福祉の推進について」 県社会福祉協議会地域福祉課 課長代理 中原 敦子 講義・グループワーク「地域包括ケアを推進するために」 新潟大学 歯学部口腔生命福祉学科准教授 中川 兼人

##### (3) 社会福祉施設職員研修(県受託研修)

社会福祉施設役職員を対象に、経験年数に応じた階層別や職種を考慮した研修により、業務に従事する上で必要な専門知識や技術の習得を図ることを目的に実施した。

### ① 新任職員研修

期日・場所等	内 容	
第1回 6月1～2日 新潟市 (受講者117名)	講義「社会福祉の理念・動向」 新潟医療福祉大学 社会福祉学科教授 新潟県社会福祉士会会長	横山 豊治 星井 勝博
第2回 6月15～16日 三条市 (受講者93名)	講義・演習「福祉サービスの実践」 あかりケアプランセンター管理者 新潟みずほ福祉会法人本部 総務課長 障害者支援施設桜花園生活支援課長	西本 円 金子 浩 稲川 克弘
第3回 6月29～30日 新潟市 (受講者109名)	講義・演習「チームワークとリーダーシップ」～チームワークの基本～ 特定非営利活動法人ワーキングウイメンズアソシエーション常任理事 講義・演習「能力開発」～自己啓発の基本～ 新潟大学 教育・学生支援機構企画室／経営戦略本部学長室	西條 和佳子 准教授 澤邊 潤
第4回 7月13～14日 新潟市 (受講者99名)	講義・演習「組織活動」～組織活動の基本・職場の基本動作～ 認定特定非営利活動法人新潟 NPO 協会理事 NPO 法人新潟ねっと代表理事	井上 基之 村山 賢

### ② 中堅職員研修

期日・場所等	内 容	
第1回 6月21～22日 三条市 (受講者76名)	講義・演習「チームワークとリーダーシップ」～チームワークの促進～ グローバルマーケティング (株) 代表取締役 講義・演習「福祉サービスの実践」 新潟青陵大学短期大学部 人間総合学科准教授	今井 進太郎 柳澤 利之
第2回 7月5～6日 新潟市 (受講者122名)	講義・演習「職場の問題解決」～自律的問題解決～ 障害福祉サービス事業所 ポプラの家所長 講義・演習「組織活動」～組織活動の自律的遂行～ 新潟県社会福祉士会会長	山賀 亮一 星井 勝博
第3回 7月26～27日 新潟市 (受講者110名)	講義・演習「能力開発」～自己啓発・相互啓発の基本～ 新潟医療福祉大学 社会福祉学科特任教授 新潟医療福祉大学 社会福祉学科特任教授	武井 恒美 武井 恒美

### ③ 指導的職員研修

期日・場所等	内 容	
第1回 6月12～13日 三条市 (受講者56名)	講義・演習「社会福祉の理念・動向」 新潟大学 歯学部口腔生命福祉学科教授 講義・演習「能力開発」～職員指導の育成・展開～ 新潟医療福祉大学 社会福祉学科長・教授	高橋 英樹 松山 茂樹
第2回 7月10～11日 新潟市 (受講者90名)	講義・演習「職場の問題解決と課題形成」 新潟医療福祉大学 社会福祉学科長・教授 講義・演習「チームワークとリーダーシップ」 (株) コーチエンタープライズ代表取締役	松山 茂樹 諸橋 奈々

第3回 7月24～25日 新潟市 (受講者57名)	講義・演習「組織活動」～部門及び全所的組織活動の管理～ 新潟医療福祉大学 副学長・社会福祉学部長 丸田 秋男
------------------------------------	---

#### ④ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈初任者コース〉

期日・場所等	内 容
第1回 8月17～18日 三条市 (受講者35名)	講義・演習「研修の目的」 「キャリアデザインとセルフマネジメント」 相談支援センターみなみうおぬま施設長 高野八千代
第2回 9月28～29日 新潟市 (受講者67名)	講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「メンバーシップとフォロワーシップ」 新潟県介護福祉士会会長 宮崎 則男 新潟医療福祉大学 社会福祉学科助教 丸山 仁 講義・演習「対人関係マナーとコミュニケーション」 新潟県介護福祉士会会長 宮崎 則男 新潟医療福祉大学 社会福祉学科助教 丸山 仁 講義・演習「福祉職員としての能力開発」 「業務課題の解決と実践研究の進め方の基礎」 「福祉サービスとリスクマネジメント」 他啓発科目 新潟医療福祉大学 社会福祉学科助教 丸山 仁 講義・演習「行動指針マップの策定」 新潟県介護福祉士会会長 宮崎 則男 講義・演習「キャリアデザインシートと行動計画の策定」 相談支援センターみなみうおぬま施設長 高野八千代

#### ⑤ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈中堅職員コース〉

期日・場所等	内 容
第1回 9月14～15日 新潟市 (受講者58名)	講義・演習「研修の目的」 「キャリアデザインとセルフマネジメント」 障がい者支援施設 緑風園園長 渡辺 陽一 高齢者総合福祉相談センター福住
第2回 10月26～27日 新潟市 (受講者62名)	研究・研修センター長岡センター長 遠藤 真一 講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「メンバーシップとフォロワーシップ」 障がい者支援施設 緑風園園長 渡辺 陽一 高齢者総合福祉相談センター福住
第3回 11月29～30日 三条市 (受講者58名)	研究・研修センター長岡センター長 遠藤 真一 講義・演習「チームケアと問題解決」 障がい者支援施設 緑風園園長 渡辺 陽一

	<p>高齢者総合福祉相談センター福住 研究・研修センター長岡センター長 遠藤 真一</p> <p>講義・演習「中堅職員としての能力開発」 「業務課題の解決と実践研究」 「利用者の尊厳を守る福祉サービスとリスクマネジメント」</p> <p>他啓発科目</p> <p>特別養護老人ホーム 白ふじの里園長 佐野 一美</p> <p>高齢者総合福祉相談センター福住 研究・研修センター長岡センター長 遠藤 真一</p> <p>講義・演習「行動指針マップの策定」 特別養護老人ホーム 白ふじの里園長 佐野 一美</p> <p>高齢者総合福祉相談センター福住 研究・研修センター長岡センター長 遠藤 真一</p> <p>講義・演習「キャリアデザインシートと行動計画の策定」 特別養護老人ホーム 白ふじの里園長 佐野 一美</p> <p>高齢者総合福祉相談センター福住 研究・研修センター長岡センター長 遠藤 真一</p>
--	--

#### ⑥ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈チームリーダーコース〉

期日・場所等	内 容
<p>第1回 10月19～20日 三 条 市 (受講者49名)</p>	<p>講義・演習「研修の目的」 「チームリーダーとしてのキャリアデザインと セルフマネジメント」 障害福祉サービス事業所 ポプラの家所長 山賀 亮一</p>
<p>第2回 11月15～16日 新 潟 市 (受講者74名)</p>	<p>講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成」 障害福祉サービス事業所 ポプラの家所長 山賀 亮一</p> <p>講義・演習「OJTの効果的推進」 「問題解決等会議の効果的な進め方」 障害福祉サービス事業所 ポプラの家所長 山賀 亮一</p> <p>講義・演習「チームリーダーとしての自己成長と職場研修の推進」 「業務課題の解決と実践研究」 「サービスの質の確保・向上リスクマネジメント」</p> <p>他啓発科目</p> <p>特別養護老人ホーム 新潟東愛宕の園施設長 後藤 孝志</p> <p>講義・演習「行動指針マップの策定」 特別養護老人ホーム 新潟東愛宕の園施設長 後藤 孝志</p> <p>講義・演習「キャリアデザインと行動計画の策定」 特別養護老人ホーム 新潟東愛宕の園施設長 後藤 孝志</p>

**⑦ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈管理者コース〉**

期日・場所等	内 容
8月30～31日 新潟市 (受講者36名)	講義・演習「研修の目的」 「管理職員としてのキャリアデザインと環境整備」 講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「組織・部門管理者としてのリーダーシップの醸成」 講義・演習「利用者本位サービス実現と権利侵害防止に向けた取り組み」 講義・演習「管理職員としての能力開発と人材育成」 「法人・事業所の業務の改善、組織の問題解決」 「福祉経営とリスクマネジメント」 他啓発科目 講義・演習「行動指針マップの策定」 講義・演習「キャリアデザインと行動計画の策定」 日本女子大学 社会福祉学科教授 久田 則夫

**⑧ 福祉施設運営管理者研修**

期日・場所等	内 容
8月8日 新潟市 (受講者41名)	講義・演習 「社会福祉施設・事業所における人材確保・育成・定着に向けて」 株式会社エイデル研究所 取締役執行役員 小林 雄二郎

**⑨ 接遇研修〈初任者コース〉**

期日・場所等	内 容
第1回 6月6日新潟市 (受講者92名)	講義・演習「接遇の基本」 ～福祉サービスの心構えとマナー～ 講義・演習「職場における実践マナー」
第2回 6月27日新潟市 (受講者70名)	特別養護老人ホーム白ふじの里園長 佐野 一美

**⑩ 接遇研修〈リーダー養成コース〉**

期日・場所等	内 容
第1回 6月8日三条市 (受講者44名)	講義「接遇対応の基本」 講義・演習「リーダーの役割と問題解決の方法」 ～職員の意識改革と組織開発を考える～
第2回 6月19日新潟市 (受講者76名)	新潟医療福祉大学 社会福祉学科助教 丸山 仁
第3回 7月3日新潟市 (受講者101名)	

⑪ 職場研修担当職員研修〈前期コース〉

期日・場所等	内 容
7月31～8月1日 新潟市 (受講者59名)	講義「これからの福祉人材育成と職場研修」 ～職場研修の考え方と仕組みづくり～ 講義・演習「職場研修の実態診断」 ～自職場の現状と課題～ 講義・演習「職場研修の視点と方法」 ～求められる職員像と資質向上の視点～ 講義・演習「研修プログラム・研修計画の再構築」 ～集合研修とOJTの体系づくり～ 新潟医療福祉大学 社会福祉学科助教 丸山 仁

⑫ 職場研修担当職員研修〈後期コース〉

期日・場所等	内 容
8月28～29日 新潟市 (受講者58名)	講義・演習「人材育成を進める職場づくり」 ～組織開発という視点から～ 講義・演習「OJTによる人材育成」 ～個人目標に注目した支援～ 講義・演習「OFF-JTによる人材育成」 ～研修に用いる技法～ 講義・演習「自職場・研修担当者の課題」 ～アクションプランの作成～ 新潟医療福祉大学 社会福祉学科助教 丸山 仁

◎⑬ 事務職員研修

期日・場所等	内 容
8月22日 新潟市 (受講者110名)	講義・演習 「総務・事務部門における運営管理のポイント」 株式会社 TMC 経営支援センター (一社) 栃木県老人福祉施設協議会 事務局長 三村 貴夫

(4) 社会福祉課題別研修（県社協自主研修）

社会福祉施設役職員を対象に、職種・研修ニーズを考慮した課題別の研修により、業務に従事する上で必要な専門知識や技術の習得を図ることを目的に実施した。

① アクティビティ・ケア研修

期日・場所等	内 容
9月8日 新潟市 (受講者112名)	講義「アクティビティ・ケアの基礎理論」 実技「アクティビティ・ツールの制作と実践」 高齢者アクティビティ開発センター代表 多田 千尋 説明 「アクティビティ・ケア新潟支部の活動について」 高齢者アクティビティ開発センター アクティビティ・ケア新潟支部支部長 齋藤 まみ 実践発表「アクティビティ・ケア実践活動について」 高齢者アクティビティ開発センター アクティビティ・ケア新潟支部支部長 齋藤 まみ 交流学习「心を動かす」コミュニケーション実践 講義・まとめ 「アクティビティ・ケアの実践に向けて」 高齢者アクティビティ開発センター代表 多田 千尋

## ② 気づく力研修

期日・場所等	内 容
第1回 8月2日 新潟市 (受講者130名)	講義・演習「今、中堅職員に求められること」 ～人が育ち・職場が変わる気づき力～ 日本女子大学 社会福祉学科教授 久田 則夫
第2回 8月25日 新潟市 (受講者133名)	

## ③ 認知症ケア・対応研修

期日・場所等	内 容
第1回 9月1日新潟市 (受講者131名)	講義・演習「認知症疾患の理解について」 講義・演習「認知症ケアと対応について」 クラレテクノ株式会社 ちゅーりっぷ苑
第2回 11月9日新潟市 (受講者139名)	副苑長 新野 直紀

## ④ コミュニケーションスキルアップ研修〈初任者コース〉

期日・場所等	内 容
9月5日 新潟市 (受講者129名)	講義・演習「自己覚知と他者理解」 講義・演習「コミュニケーションの基本」 講義・演習「記録の書き方」 新潟医療福祉カレッジ 介護福祉学科 主任 山田 允宣

## ⑤ コミュニケーションスキルアップ研修〈リーダーコース〉

期日・場所等	内 容
9月12日 新潟市 (受講者108名)	講義・演習「リーダーの基礎知識」 講義・演習「アンガーマネジメントの基礎」 講義・演習「チームにおけるコミュニケーション」 新潟医療福祉カレッジ 介護福祉学科 主任 山田 允宣

## ⑥ メンタルヘルス研修

期日・場所等	内 容
9月19日 新潟市 (受講者128名)	講義・演習 「メンタルヘルスの基礎知識」 「ストレス対策の基本」 「対人援助職のメンタルヘルス」 「セルフケアのための方法」 新潟医療福祉大学 社会福祉学科特任教授 伊東 正裕

## ⑦ コーチング研修

期日・場所等	内 容
11月1日 新潟市 (受講者124名)	講義 「コーチングとは」 ～コーチングの基本的理解～ 講義・演習 「コーチングスキルの習得・実践」 「コミュニケーションの方法・実践」 (株)コーチエンタープライズ代表取締役 諸橋 奈々

⑧ モチベーションアップ研修

期日・場所等	内 容
第1回 12月11日 新潟市 (受講者116名)	講義・演習 「感情労働とモチベーションアップ」 ～チームの「元気」の支え方～ ケアタウン総合研究所 代表 高室 成幸
第2回 12月12日 三条市 (受講者74名)	

⑨ 看取りケア研修

期日・場所等	内 容
12月14日 新潟市 (受講者133名)	講義「看取りケア」 新潟県看護協会理事 看護師職能Ⅱ委員長 本間 美知子 講義「看取りケア」 ～開設からの経過～ 新潟県看護協会 看護師職能Ⅱ委員 小松 順子 演習「施設での取組や課題を元にしたグループワーク」 「グループ発表」 「発表の講評・助言」 新潟県看護協会理事 看護師職能Ⅱ委員長 本間 美知子 新潟県看護協会 看護師職能Ⅱ委員 小松 順子

⑩ 虐待防止・対策研修

期日・場所等	内 容
12月19日 新潟市 (受講者127名)	講義 「施設等における虐待防止と対応策を考える」 講義・演習 「事例を通して考える虐待予防策・対応策」 長野大学 社会福祉学部特任教授 萱津 公子

⑪ 口腔ケア研修

期日・場所等	内 容
11月20日 新潟市 (受講者120名)	講義 「口腔ケアの必要性・効果と実際」 新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生命福祉学講座 福祉学分野教授 大内 章嗣 講義・実習「口腔ケアの実際とドライマウス」 講義・実習「食事介助の基本」 演習「グループワークと振り返り」 ～口腔ケアを進めるために～ 新潟大学医歯学総合病院 口腔リハビリテーション科 病院講師 伊藤 加代子 新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生命福祉学講座 福祉学分野 教授 大内 章嗣

◎⑫ 伝える力研修

期日・場所等	内 容
10月18日 新潟市 (受講者132名)	講義 「コミュニケーションの基本」 「相手に伝えるためのコミュニケーション方法」 「対人援助職に必要とされる伝える力（プレゼンテーション力）」 講義・演習 「プレゼンテーション力を高めるためには」 東京工芸大学 芸術学部 教授 大島 武

◎⑬ 会議運営スキル研修

期日・場所等	内 容
10月13日 新潟市 (受講者91名)	講義 「職場のコミュニケーションと会議」 講義・演習 「効率的、効果的な会議の進め方」 La Grande Roue 代表 コミュニケーションクリエイター 今尾 昌子

◎⑭ 記録の書き方研修

期日・場所等	内 容
第1回 10月11日 新潟市 (受講者115名)	講義 「記録の目的・役割・意義。記録の基本」 講義・演習 「記録の書き方の基本・ポイント」 「事例で学ぶ記録の書き方」 田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 村井 祐一
第2回 1月17日 新潟市 (受講者126名)	

⑮ 社会福祉法人制度改革対応セミナー（前期） ～社会福祉法人制度改革フォローアップ～  
（新潟県社会福祉法人経営者協議会共催）

期日・場所等	内 容
8月23日 新潟市 (受講者198名)	講義 「要チェック！改正社会福祉法施行後の法人運営」 全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 専門委員 柏瀬 善彦 事業説明 「知らないでは済まされない！指導監査ガイドライン徹底解説」 全国社会福祉法人経営者協議会事務局 鈴木 史郎 (全国社会福祉協議会法人振興部副部長) 事業説明 「地域における公益的取組 にいがたセーフティーネット事業について」 新潟県社会福祉法人経営者協議会 当該事業事務局 竹之内 隆明

⑩ 新潟県経営協セミナー（後期）（新潟県社会福祉法人経営者協議会共催）

期日・場所等	内 容
12月22日 新潟市 (受講者138名)	<p>講義 「ここで差がつく！明日からの社会福祉法人経営 ～伝えたい3つのこと～」 全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 副会長 武居 敏</p> <p>事業説明 「時代を先取りした最新情報をキャッチ」 全国社会福祉法人経営者協議会事務局 岡崎 貴志 (全国社会福祉協議会法人振興部副部員)</p> <p>実践発表 「明日からこれで取り組める！地域における公益的な 取組の極意を教えます」 (導入講義及び事例のポイント) 全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 専門委員 梅野 高明</p> <p>(実践発表) 長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 サポートセンター大島 管理者 木村 伸彦 桜井の里福祉会 業務執行理事・事務局長 高橋 学</p>

2 福祉職員研修受講支援事業の推進〈活動指針〉

社会福祉従事者に対し、学習や研修の機会をより幅広く一体的に提供することで、人材育成の促進を図った。

(1) 研修情報提供事業

社会福祉研修センターホームページに、県社協、県老人福祉施設協議会、県社会福祉士会、県介護福祉士会、県介護支援専門員協会及び県ヘルパー協議会、県保育連盟の7福祉団体が主催する研修会を一体的に掲載し、県内社会福祉行政関係職員、社会福祉施設関係職員、市町村社会福祉協議会職員が、それぞれの専門分野、キャリアに応じた研修を受講できるよう情報提供を行った。

(2) 研修履歴管理システム活用事業

社会福祉研修センターホームページ上に構築した研修受講履歴管理システムから、職員の研修履歴管理や職員に必要とされる研修を提案し、キャリアパスやスキルアップ支援を行った。

(3) 福祉職員のための出前研修事業

人的余裕がなく外部研修への職員派遣が難しい小規模な福祉施設・事業所に対して出前研修を実施し人材育成を促進した。

期日・場所等	内 容
1月23日 南魚沼市 (31名)	<p>訪問事業所：(福) 桐鈴会 工房とんとん、グループホームおひさま</p> <p>講義・演習：「チームワークの促進」 グローバルマーケティング(株) 代表取締役 今井 進太郎</p>
1月31日 津南町 (5名)	<p>訪問事業所：特定非営利活動法人フォーリーフ 就労継続支援A型よつば</p> <p>講義・演習：「利用者主体の福祉サービス実践と地域における福祉施設・事業所の役割」 障がい者支援施設 緑風園 園長 渡辺 陽一</p>

#### (4) 福祉団体研修担当者打合会の開催

福祉団体事務局研修担当職員が、研修事業計画、ホームページ掲載内容等について情報共有を行った。

期日・場所等	協議事項
3月8日 新潟市	平成30年度研修事業計画について 団体研修カレンダーの実施状況と入力作業について

### 3 介護支援専門員の養成・資質向上推進事業

#### (1) 介護支援専門員実務研修受講試験

介護支援専門員になるために必要な実務研修の受講を希望する者に対し、事前に介護保険制度、要介護認定、居宅サービス計画等に関する専門知識を有しているかを確認するための試験を、新潟県の指定機関として実施した。

- ▶ 介護支援専門員実務研修受講試験等実施本部の設置
- ▶ 試験日 平成29年10月8日

#### 【受験者及び合格者数等状況】

区 分	受験申込者数	受験者数	合格者数	合格率
人数・合格率	2,451名	2,298名	534名	23.2%

## 事業報告の附属明細書

平成29年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細は作成しない。

社会福祉法人新潟県社会福祉協議会